

日立オイルフリースクリュー圧縮機

HITACHI
Inspire the Next

省エネ・環境重視のクリーンエアー
OIL FREE SCREW

15～240kW GENERAL CATALOG

NEXT STAGE SCREW



先進のクリーンエアで、 環境・省エネを極めたNEXT STAGE DSP。

1911年に圧縮機を製造して以来、100年を超える歴史を築いてきた日立空気圧縮機。
日立産機システムは、「次の100年に向けて、環境と省エネに貢献します。」をコンセプトに環境に配慮した
クリーンな圧縮エアで生産性の向上と地球環境に貢献してまいります。さらに、オイルフリースクリューは、
日立IoT対応空気圧縮機NEXTⅢseriesとして、IoT対応を強化した通信機能を標準装備し、
リアルタイムでの状態監視を手軽に行い、ライフサイクルコストの低減を実現します。これからも、さらなる発展と
産業・社会のニーズにお応えするため、伝統と豊富な技術力を継承して、次世代のエアステージへ進化し続けます。



NEXT STAGE SCREW

クリーンエア クラスゼロレベルのオイルフリーエアを提供 (DSP全機種)

ISO 8573-1 (圧縮空気—汚染物質および清浄等級) に基づき、第三者機関 (TÜV) にて
日立オイルフリースクリュー圧縮機 (DSP) の吐出し圧縮空気中の油分濃度測定を実
施。吐出し圧縮空気中のオイル含有量は、最高品質等級の「クラスゼロ」レベルである
ことが試験により証明されました。

クラスゼロの清浄度を有する圧縮空気を得るためには、圧縮機設置場所の大気中に含まれる油分、有機溶剤成
分がクラスゼロレベルの濃度であることが必須条件となります。
圧縮機設置場所の周囲環境が悪ければクラスゼロの清浄度を有する圧縮空気を得ることはできません。



■ ISO 8573-1:2010 [-:-:-0]



※ 160/240kW空冷Vタイプはインバータ盤が別置きになります。

INDEX

ラインアップ	1-4
FitLiveのご提案	5-8
タイプ説明	9-10
DSP 15-55kW Single Stage NEXTⅢseries	11-14
DSP 22-120kW Two Stage NEXTⅢseries	15-18
DSP 132-240kW Two Stage NEXTⅢseries	19-20
DSP 15-55kW Single Stage DSP 22-240kW Two Stage NEXTⅢseries (共通)	21-22
オプション仕様	23
周辺機器	24-28
省エネルギー のご提案	29-30
ご注意	31-32
計測診断	33
グローバル ネットワーク	34

小型から大型まで、省エネや環境性能など高次元のニーズに対応する豊富なラインアップ。

15-55kw Single Stage

NEXTIIIseries

シンプルでコストパフォーマンスに優れた日立独自の単段タイプ。

可変速


一定速

空冷

水冷

ドライヤー内蔵

ドライヤー無



P11~14

22-37kw Two Stage

NEXTIIIseries 空冷機

徹底したロス低減により省エネと低騒音を実現した小型クラス。

可変速

一定速

空冷

ドライヤー内蔵

ドライヤー無



P15~18

45-120kw Two Stage

NEXTIIIseries

大空気量化と省エネを図った新開発エアエンド搭載の中型クラス。

可変速

一定速

空冷

水冷

ドライヤー内蔵

ドライヤー無



P15~18

132-240kw Two Stage

NEXTIIIseries

先進の技術を結集した環境性能にも優れた大型クラス。

可変速

一定速

空冷

水冷

ドライヤー無



P19~20

オプション仕様

周辺機器

省エネルギーのご提案

ご注意

計測診断

グローバルネットワーク

機種は吐出し空気量・圧力・電圧の他、一定速機、Vタイプ(可変速機)の2タイプからお選びください。
※制御方式の説明はP9をご参照願います。

機種一覧			1522303745557590100120132145160200240													
一定速機																
単段機	空冷式	ドライヤー不付														
		ドライヤー内蔵														
	水冷式	ドライヤー不付														
		ドライヤー内蔵														
二段機	空冷式	ドライヤー不付														
		ドライヤー内蔵														
	水冷式	ドライヤー不付														
		ドライヤー内蔵														

Vタイプ(可変速機)			1522303745557590100120132145160200240													
単段機	空冷式	ドライヤー不付														
		ドライヤー内蔵														
	水冷式	ドライヤー不付														
		ドライヤー内蔵														
二段機	空冷式	ドライヤー不付														
		ドライヤー内蔵														
	水冷式	ドライヤー不付														
		ドライヤー内蔵														

※一部機種ラインアップは機種一覧をご参照願います

運用コストを抑えながら生産現場を革新する。
さらに進化した日立の新空気圧縮機。



充実のラインアップ、日立IoT 対応空気圧縮機



操作パネルでユーザー登録するだけで、
空気圧縮機クラウド監視サービス「FitLive®」を、
すぐに、手軽に導入いただけます。



グラフ表示

今の情報だけでなく、状態を
トレンドグラフで表示することで
予防保全、故障原因の
早期究明に役立てます。



帳票出力

稼働情報や月報などの
各種履歴は、帳票として出力し、
保管が可能です。



トラブル シューティング

万一のトラブル発生時に
取扱説明書を探さなくとも、
FitLive®画面に対処方法が
表示されます。

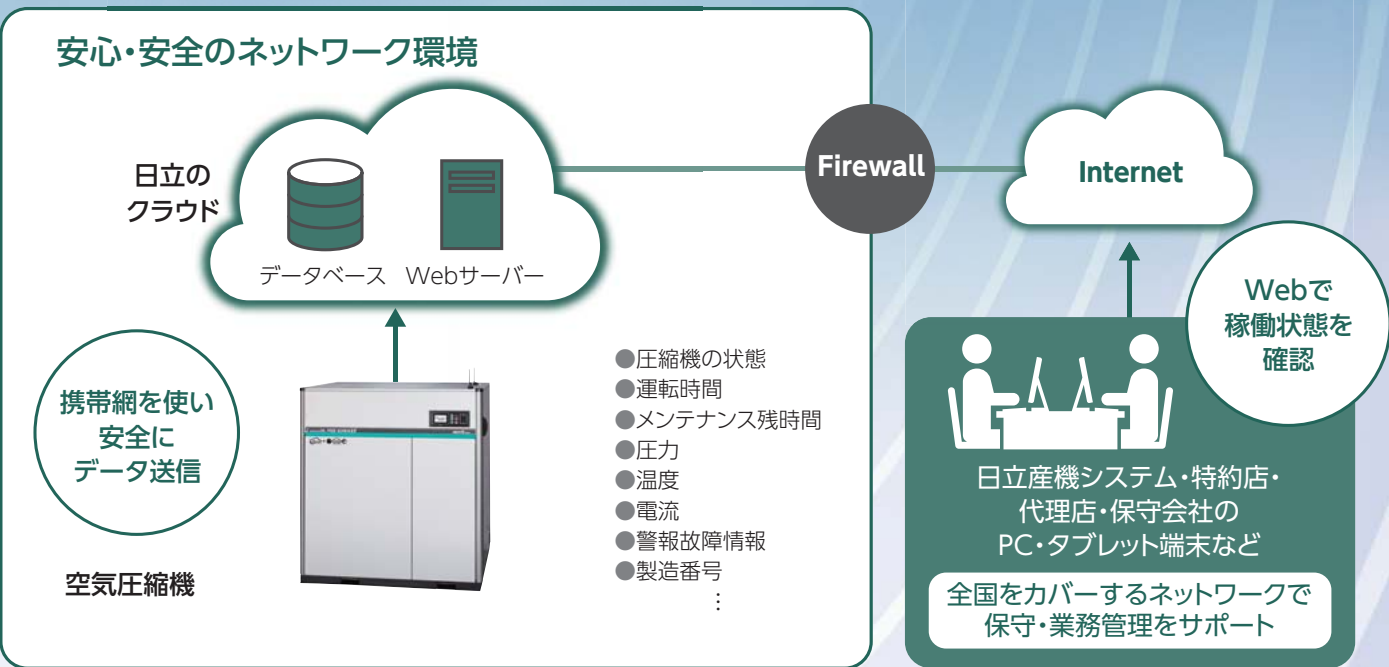


メール通知

発生した警報、故障内容は
メールで送信されます。



強固なセキュリティを確保した日立グループのクラウドを活用



FitLive®サービスの
ご契約者さまは

導入時は無料、2年目以降は **無料と有料プランを選択** できます。
有料プランを選択すると **製品保証期間が最大2年** になります。

導入時よりFitLive®に関するすべての機能が1年間無料でご利用いただけます。2年目以降は、状態監視や警報・故障メールを受け取るなどの基本機能は無料でご利用いただけます。有料プランを選択すれば、継続してすべての機能がご利用可能で製品保証期間が最大2年となります。

ご契約の手続きはタッチパネル操作後、
PCやタブレット端末からWeb登録へ。
↓ FitLive®登録サイトはこちら



<https://www.hitachi-ies.co.jp/fitlive>

FitLive®機能一覧表

イメージ	項目	1年目	2年目以降
	ひと目でわかる状態表示	無料	無料
	現場に行かなくとも状態を確認可能		
	メール通知	有料	有料
	メンテナンス履歴管理のクラウド化による情報共有		
	グラフ表示		
	帳票出力		
	部品リクエスト		
	トラブルシューティング		

日立のIoT技術で広がる新しい設備運用管理

FitLive®はビッグデータを活用して進
化を続けます。お客さまからご提供い
ただいたデータは、製品の品質向上や
サービス向上に必ず役立てます。

現在

機器をつなげる
情報の精度を上げる

未来

ビッグデータを自動解析
AIによる設備管理の自動提案
ダウンタイム削減への予兆診断

コストメリット

24時間リアルタイム監視で 設備の安定稼働へ

これまでの事後保全では設備の故障リスクが常に存在し生産計画に支障が発生します。クラウド監視を活用した保守が、安定稼働をサポートします。

安定稼働 

クラウド監視サービスで、 設備管理業務を軽減

日常管理や故障時の対応、設備や部品の見積対応と現場及び事務処理等の設備管理業務を軽減。クラウド監視によって緊急対応・状態監視・設備管理をサポートし、設備管理に掛かるお客さまの負担を減らします。

管理費削減 

機器運用の最適化で 更なる省エネ運転へ

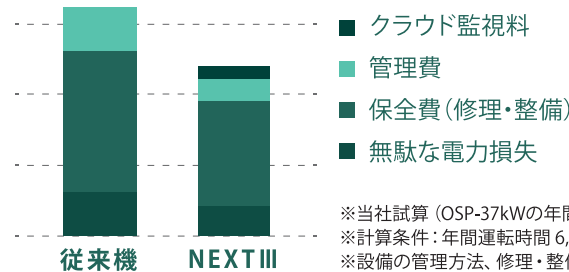
クラウド監視や保守によって、最適なタイミングに機器の状態を改善することで常に効率よく運転します。
例) 吸込みフィルタが詰まるだけで空気量は減少、電力ロスは増加します。

無駄な電気代削減 

NEXT IIIのコストメリット

日立のクラウド監視「FitLive」によって設備管理工数の削減、修理・整備を最適化、効率の良い運転を実現。

運用コストを
26%削減



NEXT IIIとFitLiveは、工場設備の運用効率をピンポイントで改善します。

—導入の主な効果—

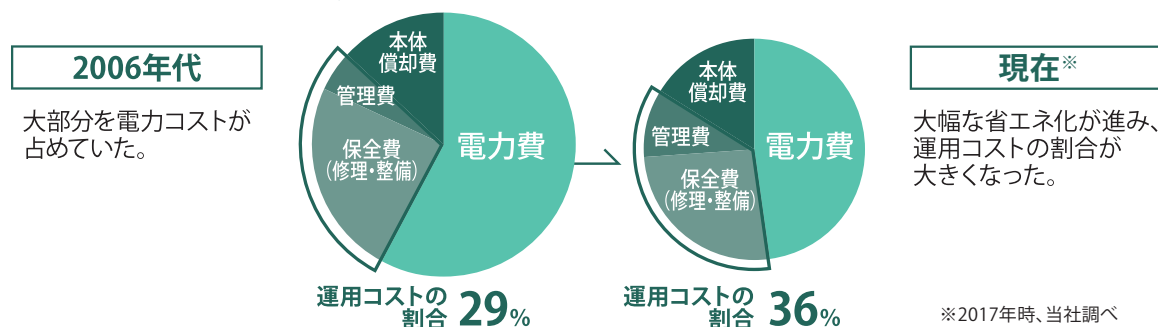
- ・修理/整備スケジュールの最適化
- ・設備管理工数削減
- ・事故の発生リスク軽減
- ・不具合対応の削減/迅速化

参考

新時代のライフサイクルコスト管理とは…

省エネ化が進み電力費削減も限界に近づいた現在、これからは「運用コスト」をどう削減するかがポイントになります。

空気圧縮機のライフサイクルコストの変化



- ・管理工数のウェイトも拡大。工数 & 不具合削減も重要な要素になります。
- ・省エネだけでなく運用コストの改善が必要です。

面倒な設定不要

搬入／設置後に通信用アンテナを取り付けるだけで、準備完了です。
特別なネットワーク設定は必要ありません

FitLive手続き方法

NEXT IIIには通信機能が標準搭載されています。電源を入れて圧縮機のタッチパネルの質問に答えていくだけでFitLiveサービスへの基本設定ができます。あとは弊社Webサイトから必要事項の登録をお願いします。

※FitLiveサービスの利用料は、最初の1年間は無料となります。



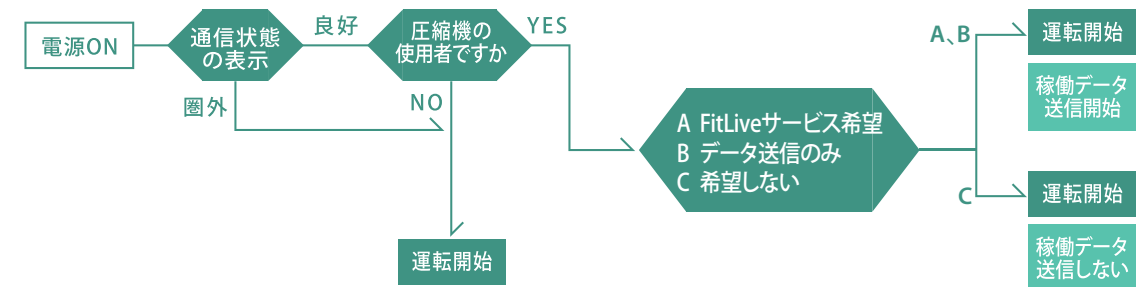
STEP1 アンテナ取付

圧縮機に付属されたアンテナを接続・設置しましょう。
※接続方法について付属されるFitLive用通信アンテナ設置手順書をご確認ください。



STEP2 タッチパネル操作

電源投入後、通信設定をしましょう。



※地下室や通信不可の場合は販売窓口もしくは弊社へご連絡ください。通信回路の遮断をいたします。
※タッチパネルの意思表示確認画面で選択いただいた内容はクラウドに送信されます。
※意思表示確認の前に取扱説明書記載の契約約款兼接続承諾約款をご確認のうえ、選択をお願いします。

STEP3 Web登録

インターネットよりお客さま情報や機器情報などを登録しましょう。
弊社ホームページより、FitLiveサービスの必要情報の入力をお願いします。
URL (<https://www.hitachi-ies.co.jp/fitlive>)、取扱説明書記載のQRコードからご登録をお願いします。



※弊社から契約書が添付されたメールが届きますので契約の手続きをお願いします。 ※FitLive登録画面やWeb画面は変わることがあります。

高性能スクリー圧縮機のエアエンド構造 (共通仕様)

ステンレスファインローター

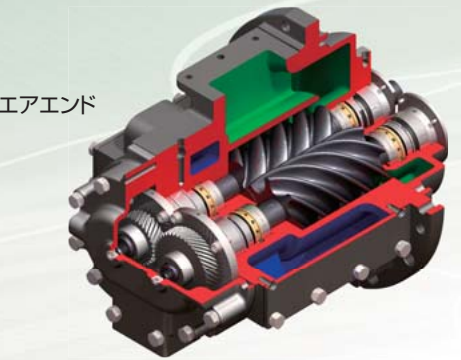
高精度の歯面研削で加工されたローターの素材には、耐食性と耐久性に優れた特殊ステンレス鋼を採用。さらに内部の漏れを少なくするため、運転中の熱膨張を考慮した鏡面加工を施し適切な隙間を確保しています。

●高性能ロータープロファイル

単段機で300℃以上、二段機でも200℃以上になる吐出し温度にさらされるローターは大きく熱膨張します。この熱膨張をあらかじめ見込んで運転中に適切な隙間が確保できるように、日立独自の3次元補正技術が適用されています。

●高性能固体潤滑被膜 (特許 第5416072号)

また、ローターには金属間での隙間をさらに縮小し、性能向上を図るために固体潤滑被膜を塗装してあります。この固体潤滑被膜は、300℃を超える過酷な環境でも十分な性能を有するもので、日立独自の技術が適用されています。



油漏れを防ぐシャフト・シール

日立がオイルフリースクリー圧縮機用に設計したビスコシールは、内部の渦巻き溝で油を積極的におしもどします。エアシールとビスコシールの組み合わせで圧縮室への油の浸入を防ぎます。

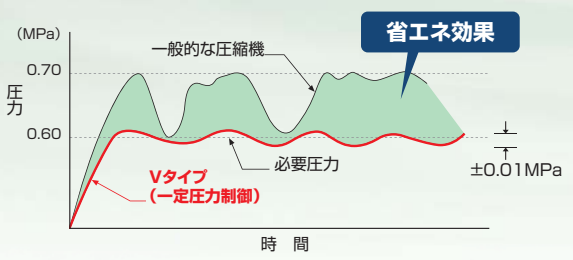


ベアリング、タイミングギヤ

ベアリングには専用のボールベアリングとローラーベアリング、潤滑にジェット給油を採用。また、精密に仕上げられたタイミングギヤはローターの適切な隙間を確保しています。

一定圧力制御により、必要な空気量を必要な圧力で供給 Vタイプ

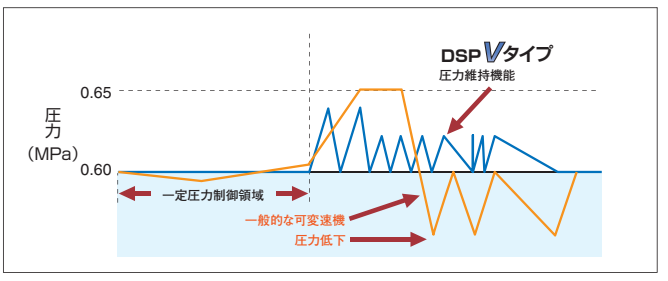
圧力変動幅±0.01MPa以下の高精度な一定圧力制御ができますので、使用機械が必要とする圧力の空気を効率よく供給できます。さらに設定圧力は0.01MPa刻みに設定でき大幅な省エネが図れます。



運転圧力維持機能

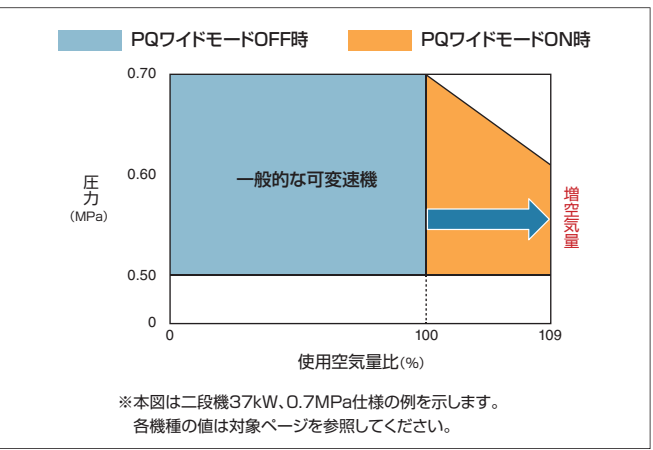
Vタイプ

一般的に可変速機は、低負荷運転や自動発停時に圧力低下が生じるため、設定圧力をあらかじめ高くする必要があります。Vタイプなら、独自の制御で設定圧力が維持できる運転圧力維持機能を装備しています。



PQワイドモード (最高回転数制御) Vタイプ (22-75kW)

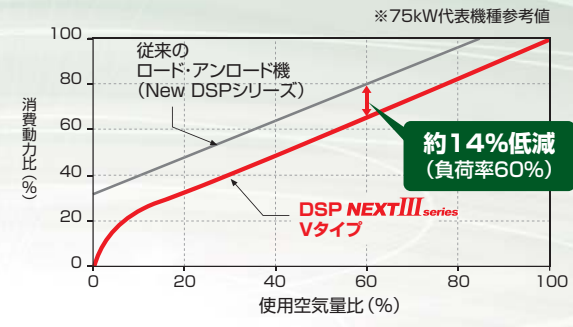
一般的な可変速機と比べ、圧力 (P)、空気量 (Q) とともに広範囲な運転が可能。最高回転数の自動調整で、使用圧力を下げた場合も吐出し空気量を増やすことができます。



※本図は二段機37kW、0.7MPa仕様の例を示します。各機種の値は対象ページを参照してください。

可変速+独自の中間段放気制御により省エネを実現

Vタイプ ※二段機

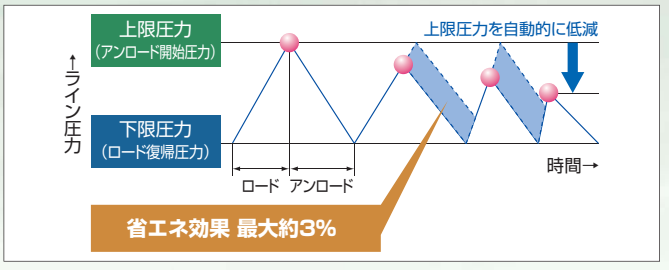


約147万円の節電

計算条件:
75kW (0.7MPa仕様)、年間運転時間:8,000Hr、
電力料金:19円/kWh、使用空気量比:60%、補機除く
運転圧力:
DSP NEXT III series Vタイプ:0.6MPa
従来のロード・アンロード機:0.7MPa

ECOMODE (省エネ運転制御) 一定速機

省エネ運転方式ECOMODEを標準搭載。空圧機器の負荷に応じて自動的に上限圧力を低減。無駄な昇圧運転をなくして省エネ運転を実現します。二段機37kW機 (0.7MPa仕様) では年間約22万円 (負荷率90%時) の電力費削減が可能です。



省力化

油煙回収装置 (OMR)、ドレン自動排出弁を標準装備

ギャケースからのオイルミストを回収し、再利用できる油煙回収装置 (オイルミストリムーバ) を標準装備しました。また、インタークーラー・アフタークーラードレン自動排出弁を装備し、エアロスなくドレンを間欠排出します。



オーバーホール6年

耐荷重能力の高い高負荷型軸受と、精度の高い潤滑油ろ過システムの組み合わせで、圧縮機本体のオーバーホールは6年ごと*です。

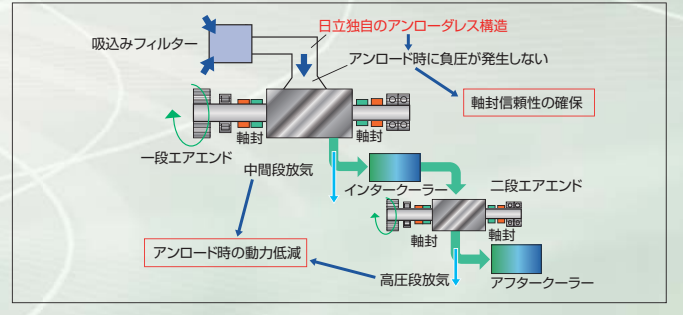


※年間運転時間8,000時間以下の場合

独自のアンローダレス、中間段放気構造による

アンロード時の動力低減と信頼性の確保 (特許 第3817420号)

アンロード時 (無負荷時) に、高压段放気を行うのに加え、中間段からも放気させることで、アンロード時の動力低減と安定した軸封信頼性を確保しています。また、アンローダレスのため、アンローダ (吸込み絞り弁) のメンテナンスが不要となります。



純正油 (専用鉱物油)

従来機を含め、日立スクリー圧縮機に使用可能な「専用鉱物油」HITACHI ROTARY COMPRESSOR OIL です。日立製品には日立純正油をご使用ください。部品番号 20L缶:59047620



特長

配合添加剤を厳選して環境負荷の少ない油脂としています。高温酸化安定性とオイルミストなどの混入によるスラッジの生成を抑制しています。優れた水分離性能と防錆能力でドレンの排出を容易とし、機器系統内の発錆を防止します。銅不活性化剤の働きで、銅の影響による油の劣化・変質を防止します。

仕様表

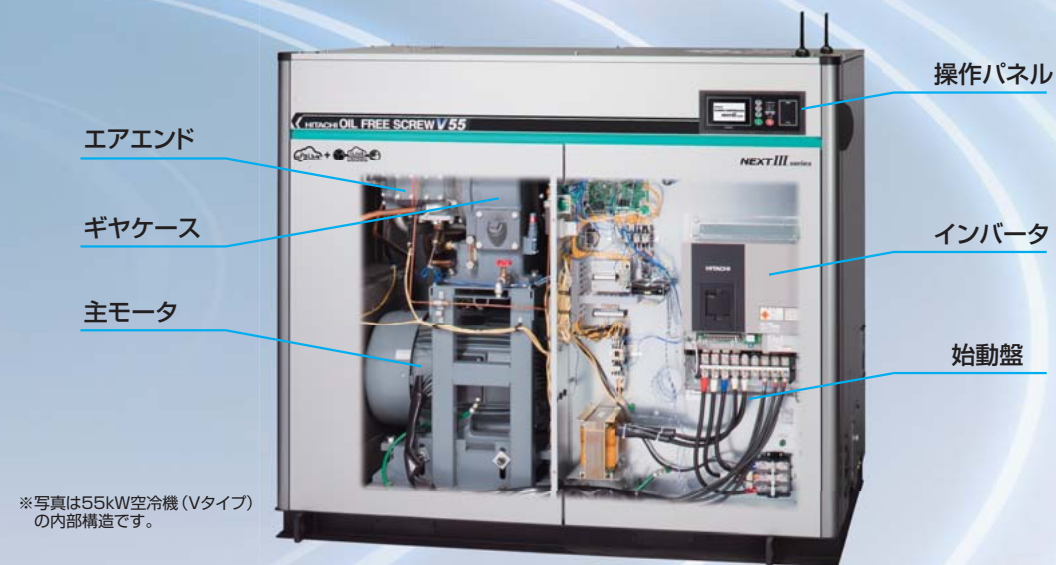
項目	内容
ISO粘度グレード	32
密度 @ 15℃ (g/cm³)	0.86
動粘度 @ 40℃ (mm²/s)	32.6
粘度指数	102
引火点 (℃)	> 200
内容量 (L)	20
荷姿	専用ポリタンク
質量 (kg)	約18
交換サイクル	HISCREW:3,000時間または1年の早い方 DSP :半年ごと

注) 1. 本油、危険等級: 危険等級Ⅲ 第4類第4石油類
2. 専用合成油対象圧縮機には絶対に使用しないでください。

DSP 15–55kW Single Stage *NEXTIII* series

15kW – 55kW

高効率、省エネ、低騒音など従来のメリットに加え、
使い勝手のよい高機能や省メンテナンス性にも、日立の技術を凝縮。

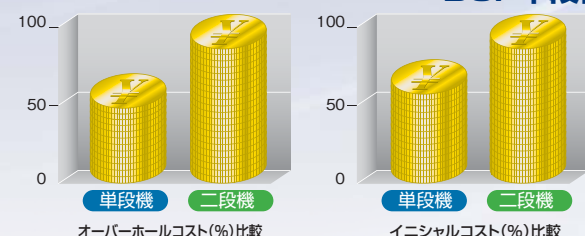


※写真は55kW空冷機 (Vタイプ) の内部構造です。

単段オイルフリースcrewは日立独自の技術です。

メンテナンスコスト・インシャルコストで選ぶなら

…DSP単段機!!



※グラフは当社55kWドライヤー不付の例

ランニングコスト(電力コスト)で選ぶなら

…DSP二段機!!



※グラフは当社45~55kWの例

同一出力クラスでの比較

DSP単段機は一段圧縮で所定の圧力(0.7MPa)まで、昇圧後、アフタークーラーで冷却。このため、構成部品は二段機より少なくなり、当然インシャルコストは二段機と比較して安価となります。また、メンテナンスコストの大部分を占めるオーバーホールもエアエンドが1つのため、約60%になります。

同一吐出し空気量クラスでの比較

DSP二段機は2つのエアエンドで2段階に昇圧。中間冷却構造のため、同一出力クラスでは二段機の方が吐出し空気量が多くなります。特に大型機の場合は、同一空気量で比較すると二段機の方が動力は小さく、電力コストも安価になります。

PQワイドモード(最高回転数制御)

Vタイプ

一般的な可変速機と比べ、圧力(P)、空気量(Q)ともに広範囲な運転が可能。最高回転数の自動調整で、使用圧力を下げた場合も吐出し空気量を増やすことができます。

PQワイドモード使用時の吐出し空気量

単位: m³/min

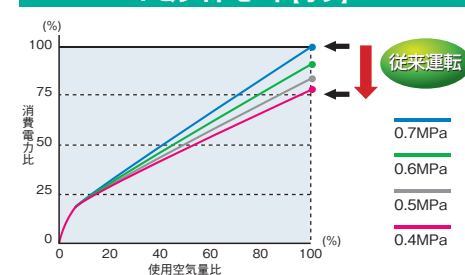
吐出し圧力 MPa	0.4	0.5	0.6	0.7
機種				
22kW	4.3	4.0	3.7	3.4
37kW	6.4	6.0	5.5	5.0
55kW	8.2	7.6	7.0	6.4

注) ドライヤー内蔵型はPQワイドモード作動最低圧力は0.5MPaになります。

● ニーズに応じて、PQワイドモードの「オン/オフ」選択が可能です。

運転圧力を下げて確実に省エネしたい…

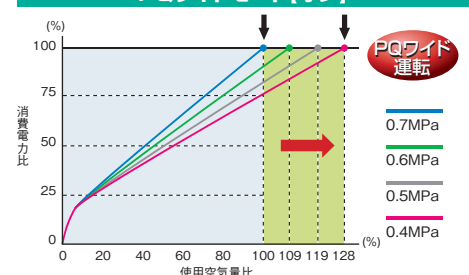
PQワイドモード[オフ]



1. 運転圧力を0.7MPaから0.6MPaに低減したときの最大の消費電力は自動的に0.7MPa時の約92%になります。
2. さらに0.5MPaまで圧力を下げた場合の消費電力は約85%になり、0.4MPaまで圧力を下げた場合には消費電力は約79%になります。使用空気量はほぼ同じで、圧力低減で確実に電力を下げたい場合にPQワイドモード: オフがおすすめです。

運転圧力を下げて圧縮機の定格最大動力まで活用したい…

PQワイドモード[オン]



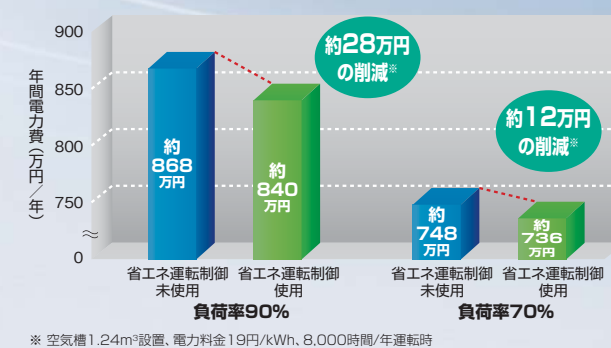
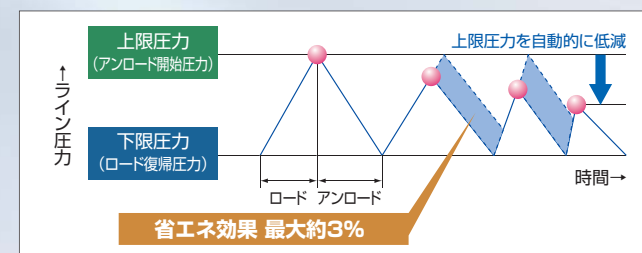
1. 運転圧力を0.7MPaから0.4MPaに低減したとき、消費電力は約79%になります。
2. 圧力低減で余った動力を使用して、定格時の128%*まで空気量をアップさせることができます。このときの消費電力は100%になります。圧縮機の定格動力を最大限に生かして空気量を必要とする場合は、PQワイドモード: オンがおすすめです。

* 55kW機の場合

ECOMODE (省エネ運転制御)

一定速機

空圧機器の負荷率に応じて自動的にアンロード開始圧力を下げ、余剰な空気圧力をカット。省エネルギー運転を実現します。



* 空気槽1.24m³設置、電力料金19円/kWh、8,000時間/年運転時
55kW一定速機(0.7MPa仕様)、必要圧力0.6MPa

高温化での信頼性確保 <全機種仕様温度45℃(50℃まで運転可能)>

圧縮機内部温度上昇を最小限に保つ新型ユニット構造により、NEXTII seriesから周囲温度45℃での連続運転とロングメンテナンスサイクル(最高周囲温度40℃のNEXTseries、従来機と同じメンテナンスサイクル)を両立し、50℃でも異常停止しない運転が可能です。

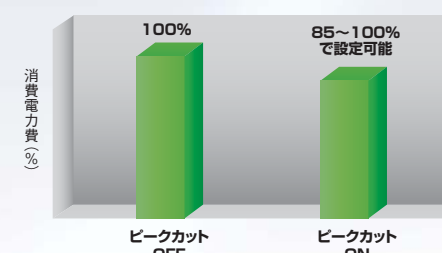


* NEXTIII seriesは周囲温度が45℃を超えると周囲温度警告を表示します。
45℃を超えて長時間運転を行った場合、潤滑油や電気部品などの寿命が短くなります。

ピークカット機能 標準装備

Vタイプ

ピークカット機能をONにすることで、圧縮機の最高回転数が設定値以下となり、圧縮機の消費電力を低く抑えることが可能です。



* ピークカット機能では強制的にモータの最大周波数を下げるため、圧縮機の吐出空気量も定格仕様より低下しますので、ご使用時はご注意ください。

AUTO (モータ自動発停) 機能 標準装備、IP55対応

負荷率が低い場合には運転を自動停止し、消費電力を低減します。
吐出し電動弁、冷却水電動弁(水冷機)も標準装備としました。



主モータは保護等級IP55にオプション対応が可能となりました。



省エネルギーのご提案

Vタイプ(可変速機)と一定速機による組み合わせ方法により、さまざまな運転での省電力が可能です。

台数制御を行わずに圧縮機2~3台で簡単に省電力運転をしたい。

台数制御でさらに省電力運転をしたい。

台数制御以上の省電力効果を出し、かつ運転時間も平準化したい。

VMコンビシステム

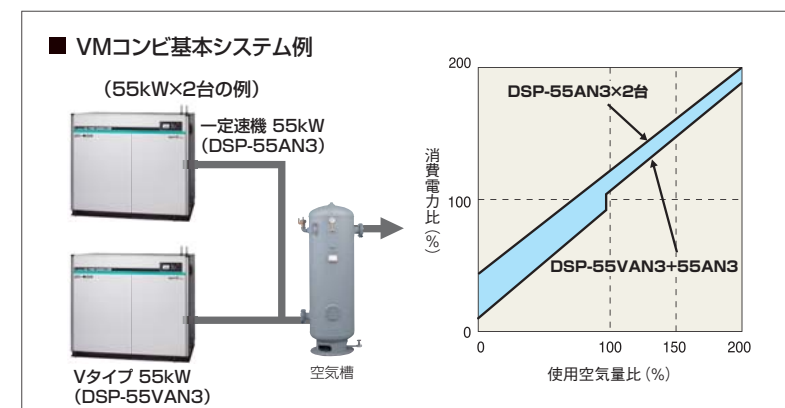
Vタイプと一定速機を組み合わせた新しい省エネ運転

Single-V 台数制御システム

台数制御にVタイプを組み合わせ簡単に省エネ運転

Multi-V 台数制御システム

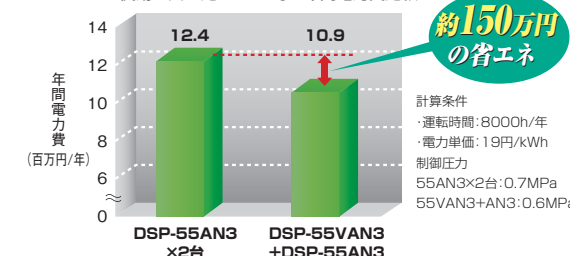
すべてVタイプとし運転時間平準化で省エネ運転



VMコンビシステムにすることによって、次のような効果があらわれます。

使用空気量比150%時で年間約150万円の省エネ。

使用空気量比150%時の年間電力費比較



計算条件
運転時間: 8000h/年
電力単価: 19円/kWh
制御圧力
55AN3×2台: 0.7MPa
55VAN3+AN3: 0.6MPa

DSP 15–55kW Single Stage *NEXTIII* series

15kW – 55kW

仕様表

■ 空冷シリーズ 22kW–55kW [可変速機]

[]はドライヤー内蔵型

型 式		可変速機 (Vタイプ)					
		DSP-22VA[R]5N3 DSP-22VA[R]6N3		DSP-37VA[R]5N3 DSP-37VA[R]6N3		DSP-55VA[R]5N3 DSP-55VA[R]6N3	
項目・単位							
吐 出 し 圧 力	MPa	0.7	0.3	0.7	0.3	0.7	0.3
吐 出 し 空 気 量	m³/min	3.4	4.6	5.0	6.7	6.4	8.5
PQワイドモード作動範囲	MPa	0.4~0.7 [0.5~0.7]	—	0.4~0.7 [0.5~0.7]	—	0.4~0.7 [0.5~0.7]	—
公 称 出 力	kW	22		37		55	
主 モ ー タ 型 式	—	4極全閉外扇型					
吸 込 み 圧 力・温 度	℃	大気圧・0~45 [2~45]					
吐 出 し 空 気 温 度	℃	吸込み温度+15以下					
吐 出 し 管 径	B	Rc1-1/2					
電 源 電 圧 (50/60Hz)	V	200/200・220					
始 動 方 式	—	インバータ					
駆 動 方 式	—	ベルト掛+ギヤ増速					
潤 滑 油 充 填 量	L	12 (非充填)			18 (非充填)		
フ ァ ン モ ー タ 出 力	kW	0.65		0.65		0.9	
クーラントポンプモータ出力 (50/60Hz)	kW	0.2/0.3					
[ドライヤー]	出口空気の露点	℃	[10 (圧力下)]	—	[10 (圧力下)]	—	[10 (圧力下)]
	冷凍機公称出力	kW	[1.2]	—	[1.45]	—	[1.45]
	使 用 冷 媒	—	[R410A]	—	[R410A]	—	[R410A]
概 略 質 量	kg	900 [960]		1,140 [1,290]		1,270 [1,420]	
外形寸法 (幅×奥行×高さ)	mm	1,650×970×1,400			1,830×980×1,580 [2,230×980×1,580]		
騒 音 値 (正 面 1.5m)	dB (A)	63	64	66	68	68	70

■ 水冷シリーズ 37kW/55kW [可変速機]

型 式		可変速機 (Vタイプ)			
		DSP-37VWN3		DSP-55VWN3	
項目・単位					
吐 出 し 圧 力	MPa	0.7	0.3	0.7	0.3
吐 出 し 空 気 量	m³/min	5.0	6.7	6.4	8.5
PQワイドモード作動範囲	MPa	0.4～0.7	—	0.4～0.7	—
公 称 出 力	kW	37		55	
主 モ ー タ 型 式	—	4極全閉外扇型			
吸 込 み 圧 力・温 度	℃	大気圧・0～45			
吐 出 し 空 気 温 度	℃	冷却水温度+13以下			
吐 出 し 管 径	B	Rc1-1/2			
電 源 電 圧 (50/60Hz)	V	200/200・220			
始 動 方 式	—	インバータ			
駆 動 方 式	—	ベルト掛+ギヤ増速			
潤 滑 油 充 填 量	L	14 (非充填)			
フ ァ ン モ ー タ 出 力	kW	0.2			
冷 却 水 量	L/min	80			
冷 却 水 温	℃	35以下			
冷 却 水 管 径	B	Rc1			
概 略 質 量	kg	1,110		1,240	
外形寸法 (幅×奥行き×高さ)	mm	1,830×980×1,580			
騒 音 値 (正 面 1.5m)	dB (A)	64	66	64	66

注) 1. 吐出し空気量は、吐出し圧力時に吐き出す空気量を吸込み状態に換算した値です。
保証値は別途お問い合わせください。
2. 騒音値は正面1.5m、高さ1mにおける全負荷運転時、クーラードレン自動排出弁閉時における無響音室での値です。また、運転条件が異なる場合や、周囲の反響の影響を受ける実際の据え付け状態では、表示値より大きくなります。
PQワイドモードON時は騒音値が約2dB増加することがあります。
3. ドライヤー内蔵型の出口空気の露点は、周囲温度30℃、入気温度45℃、定格圧力の場合の値です。
ドライヤー内蔵型は使用圧力が低くなる程、ドライヤー露点が悪化します。
PQワイドモードON時で圧力0.7MPa以下での運転時には出口空気露点は高くなり、吐出し圧力0.6MPa時では約3℃増加します。

4. 吐出し圧力0.3MPa仕様機にはドライヤー内蔵型はございません。
5. ドライヤー内蔵型の吐出し空気量は、ドレン凝縮時に最大3%減少します。
6. 防塵仕様(オプション)時には吸込温度上限は40℃となります。
7. 漏電ブレーカは本機には内蔵しておりませんので、お客さまにてご用意ください。
8. 本圧縮機は圧縮空気を直接吸引する呼吸器系の機器には使用しないでください。
9. 吐出し圧力はゲージ圧力です。
10. 冷却水の水质は、日本冷凍空調工業会標準規格JRA-GL-02-1994準拠としてください。
11. 設置場所は、屋内とし、爆発性、腐食性のない環境で、湿気、塵埃の少ない場所としてください。
12. 外観仕様などについては予告無く変更することがあります。
13. 外形寸法は、配管突起部位等の寸法は含みません。詳細は図面をご参照ください。

仕様表

■ 空冷シリーズ 15kW–55kW [一定速機]

[]はドライヤー内蔵型

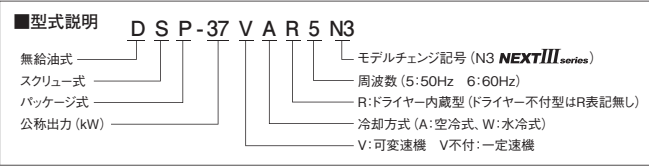
型 式		一定速機								
		DSP-15A[R]5N3 DSP-15A[R]6N3		DSP-22A[R]5N3 DSP-22A[R]6N3		DSP-37A[R]5N3 DSP-37A[R]6N3		DSP-55A[R]5N3 DSP-55A[R]6N3		
項目・単位										
吐 出 し 圧 力	MPa	0.7	0.4	0.7	0.4	0.7	0.4	0.7	0.4	
吐 出 し 空 気 量	m³/min	2.0	2.5	3.4	4.0	5.0	5.9	6.4	8.0	
公 称 出 力	kW	15		22		37		55		
主 モ ー タ 型 式	—	4極全閉外扇型								
吸 込 み 圧 力・温 度	℃	大気圧・0～45 [2～45]								
吐 出 し 空 気 温 度	℃	吸込み温度+15以下								
吐 出 し 管 径	B	Rc1		Rc1-1/2						
電 源 電 圧 (50/60Hz)	V	200/200・220								
始 動 方 式	—	直入れ		スター・デルタ (3コンタクタ)		スター・デルタ (3コンタクタ)				
駆 動 方 式	—	ベルト掛+ギヤ増速								
潤 滑 油 充 填 量	L	12 (非充填)				18 (非充填)				
フ ァ ン モ ー タ 出 力	kW	0.4		0.65		0.65		0.9		
クーラントポンプモータ出力(50/60Hz)	kW	0.2/0.3								
[ドライヤー]	出口空気の露点	℃	[10 (圧力下)]	—	[10(圧力下)]	—	[10 (圧力下)]	—	[10(圧力下)]	—
	冷凍機公称出力	kW	[0.5]	—	[1.2]	—	[1.45]	—	[1.45]	—
	使 用 冷 媒	—	[R407C]	—	[R410A]	—	[R410A]	—	[R410A]	—
概 略 質 量	kg	770 [800]		850 [910]		1,080 [1,230]		1,330 [1,480]		
外形寸法 (幅×奥行き×高さ)	mm	1,400×970×1,400				1,830×980×1,580		2,230×980×1,580		
騒 音 値 (正 面 1.5m)	dB (A)	62	63	63	64	66	68	68	70	

■ 水冷シリーズ 15kW–55kW [一定速機]

型 式		一定速機							
		DSP-15W5N3 DSP-15W6N3		DSP-22W5N3 DSP-22W6N3		DSP-37W5N3 DSP-37W6N3		DSP-55W5N3 DSP-55W6N3	
項目・単位									
吐 出 し 圧 力	MPa	0.7	0.4	0.7	0.4	0.7	0.4	0.7	0.4
吐 出 し 空 気 量	m³/min	2.0	2.5	3.4	4.0	5.0	5.9	6.4	8.0
公 称 出 力	kW	15		22		37		55	
主 モ ー タ 型 式	—	4極全閉外扇型							
吸 込 み 圧 力・温 度	—	大気圧・0～45							
吐 出 し 空 気 温 度	℃	冷却水温度+13以下							
吐 出 し 管 径	B	Rc1		Rc1-1/2					
電 源 電 圧 (50/60Hz)	V	200/200・220							
始 動 方 式	—	直入れ		スター・デルタ (3コンタクト)					
駆 動 方 式	—	ベルト掛+ギヤ増速							
潤 滑 油 充 填 量	L	10 (非充填)				14 (非充填)			
フ ァ ン モ ー タ 出 力	kW	0.05				0.1			
冷 却 水 量	L/min	50				80			
冷 却 水 温	℃	35以下							
冷 却 水 管 径	B	Rc 3/4				Rc1			
概 略 質 量	kg	770		830		1,030		1,280	
外形寸法 (幅×奥行き×高さ)	mm	1,400×970×1,400				1,830×980×1,580			
騒 音 値 (正 面 1.5m)	dB (A)	62	63	63	64	64	66	64	66

注) 1. 吐出し空気量は、吐出し圧力時に吐き出す空気量を吸込み状態に換算した値です。
保証値は別途お問い合わせください。
2. 騒音値は正面1.5m、高さ1mにおける全負荷運転時、クーラードレン自動排出弁閉時における無響音室での値です。また、運転条件が異なる場合や、周囲の反響の影響を受ける実際の据え付け状態では、表示値より大きくなります。
3. ドライヤー内蔵型の出口空気の露点は、周囲温度30℃、入気温度45℃、定格圧力の場合の値です。
ドライヤー内蔵型は使用圧力が低くなる程、ドライヤー露点が悪化します。
4. ドライヤー内蔵型の吐出し空気量は、ドレン凝縮時に最大3%減少します。
5. 防塵仕様(オプション)時には吸込み温度上限は40℃となります。
6. 漏電ブレーカは本機には内蔵しておりませんので、お客さまにてご用意ください。
7. 本圧縮機は圧縮空気を直接吸引する呼吸器系の機器には使用しないでください。
8. 吐出し圧力はゲージ圧力です。
9. 冷却水の水质は、日本冷凍空調工業会標準規格JRA-GL-02-1994準拠としてください。
10. 設置場所は、屋内とし、爆発性、腐食性のない環境で、湿気、塵埃の少ない場所としてください。

11. 外観仕様などについては予告無く変更することがあります。
12. 外形寸法は、配管突起部位等の寸法は含みません。詳細は図面をご参照ください。



産業の未来へ貢献します。

あらゆる産業分野の省エネと環境保全に向けて、
日立のDSP *NEXT III* seriesは、
確かな技術力とクリーンなエアで貢献します。



※写真は75kW水冷機 (Vタイプ) の内部構造です。

ドライヤー (ドライヤー内蔵型22-75kW)

低圧損ステンレス熱交換器

低圧損ステンレス熱交換器を新開発。
圧力損失によるロスを最少にするとともに、耐久性も向上させました。

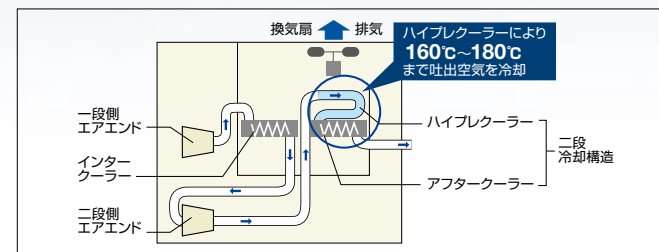


信頼性の向上

従来機と比べ、高周囲温度での運転能力を向上しました。

ハイブレーカーシステム (空冷機22-120kW^{*1})

ハイブレーカーシステムにより、高温となるアフタークーラーの入気温度を低減し、二段階冷却構造を採用することで信頼性を向上。
空冷機においても0.93MPa仕様^{*2}を実現しています。



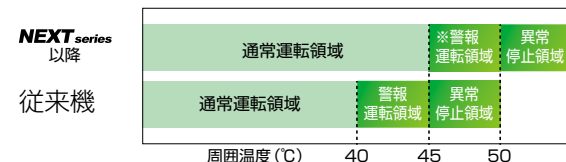
※1 45-75kW、0.7MPa仕様は除く。
※2 22-37kWは0.88MPa仕様となります。

高温化での信頼性確保 <全機種仕様温度45℃(50℃まで運転可能)>

圧縮機内部温度上昇を最小限に保つ新型ユニット構造により、
NEXT seriesから周囲温度45℃での連続運転とロングメンテナンスサイクルを両立し、50℃でも異常停止しない運転が可能です。

周囲温度45℃
での連続運転

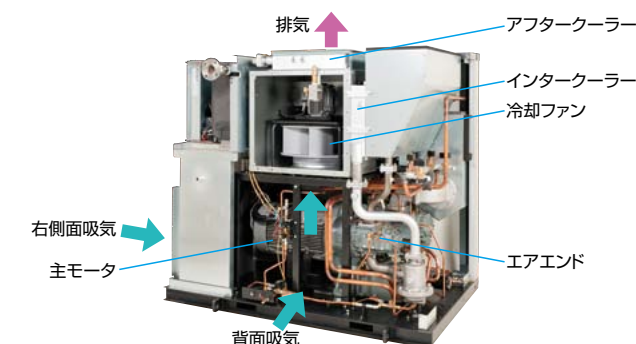
最高周囲温度40℃の従来機
と同じメンテナンスサイクル



※NEXT series以降のモデルは周囲温度が45℃を超えると周囲温度警告を表示します。
45℃を超えて長時間運転を行った場合、潤滑油や電気部品などの寿命が短くなります。

空冷機換気構造

クーラー冷却風によるユニット内の強制換気構造を採用しています。



PQワイドモード(最高回転数制御)

Vタイプ (37-75kW)

一般的な可変速機と比べ、圧力(P)、空気量(Q)ともに広範囲な運転が可能。最高回転数の自動調整で、使用圧力を下げた場合も吐出し空気量を増やすことができます。

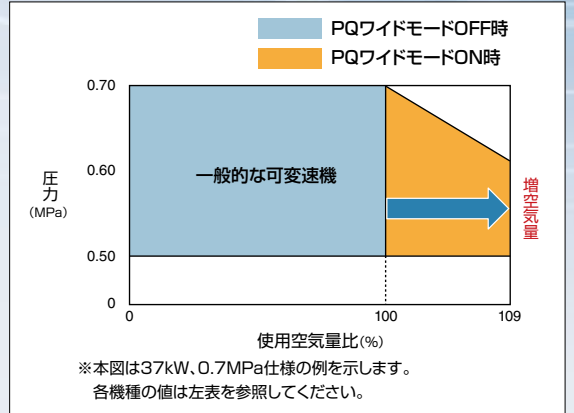
PQ ワイドモードON(0.6MPa)時の吐出し空気量 (m³/min)

機種	37VAT (R) N3	機種	55VAT (R) N3	75VAT (R) N3	55VWT (R) N3	75VWT (R) N3
0.7MPa仕様	5.5→6.0 (+9%)	0.7MPa仕様	9.3→9.6 (+3%)	12.6→13.0 (+3%)	9.5→9.8 (+3%)	12.9→13.4 (+4%)
0.88MPa仕様	4.6→5.6 (+21%)	0.93MPa仕様	7.7→9.3 (+21%)	10.9→12.6 (+16%)	8.0→9.5 (+19%)	11.4→13.0 (+14%)

ECOMODE (省エネ運転制御)

一定速機

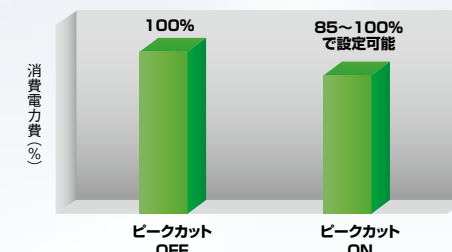
省エネ運転方式ECOMODEを標準搭載。空圧機器の負荷に応じて自動的に上限圧力を低減。無駄な昇圧運転をなくして省エネ運転を実現します。37kW機(0.7MPa仕様)では年間約22万円(負荷率90%時)の電力費削減が可能です。



ピークカット機能 標準装備

Vタイプ

ピークカット機能をONにすることで、圧縮機の最高回転数が設定値以下となり、圧縮機の消費電力を低く抑えることが可能です。



※ピークカット機能では強制的にモータの最大周波数を下げるため、
圧縮機の吐出空気量も定格仕様より低下しますので、ご使用時はご注意ください。

AUTO (モータ自動発停) 機能 標準装備、IP55対応

負荷率が低い場合には運転を自動停止し、消費電力を低減します。
吐出し電動弁、冷却水電動弁(水冷機)も標準装備としました。



45-120kW主モータの保護等級はIP55を標準装備とし、信頼性をアップしました。
(55/75kW可変速機は除く)
また、22-37kW主モータについても保護 等級IP55にオプション対応が可能となりました。
(37kW可変速機は除く)



省エネルギーのご提案

Vタイプ(可変速機)と一定速機による組み合わせ方法により、さまざまな運転での省電力が可能です。

台数制御を行わずに圧縮機2-3台で簡単に省電力運転をしたい。

VMコンビシステム

Vタイプと一定速機を組み合わせ新しい省エネ運転

台数制御でさらに省電力運転をしたい。

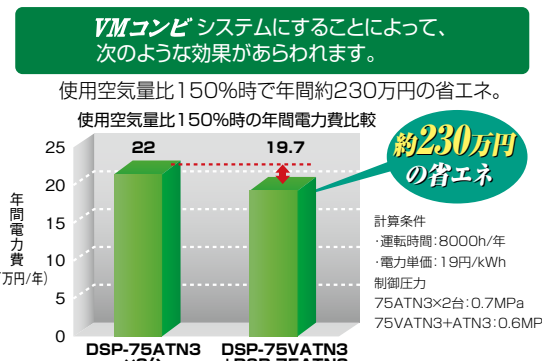
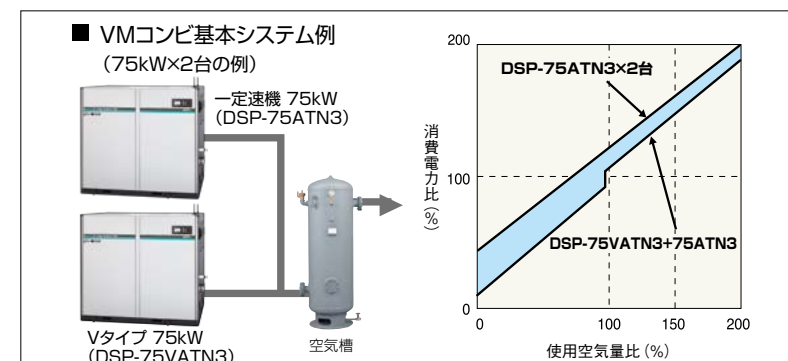
Single-V 台数制御システム

台数制御にVタイプを組み合わせ簡単に省エネ運転

台数制御以上の省電力効果を出し、かつ運転時間も平準化したい。

Multi-V 台数制御システム

すべてVタイプとし運転時間平準化で省エネ運転



DSP 22-120kW Two Stage *NEXTIII* series

22kW－120kW

仕様表

■空冷シリーズ 22kW－37kW

項目・単位		型式	一定速機					
			DSP-22AT [R] 5N3		DSP-30AT [R] 5N3		DSP-37AT [R] 5N3	
			DSP-22AT [R] 6N3		DSP-30AT [R] 6N3		DSP-37AT [R] 6N3	
吐 出 し 圧 力	MPa	0.70	0.88	0.70	0.88	0.70	0.88	
吐 出 し 空 気 量	m³/min	3.7	3.2	4.7	4.0	5.6	4.7	
PQワイドモードON:0.6MPa時		—						
公 称 出 力	kW	22		30		37		
主 モ ー タ 型 式	—	4極全閉外扇型						
吸 込 み 圧 力・温 度	—	大気圧・0～45 [2～45]℃						
吐 出 し 空 気 温 度	℃	吸込み温度+15以下						
吐 出 し 管 径	B	Rc1・1/2						
電 源 電 圧 (50/60Hz)	V	200/200・220						
始 動 方 式	—	スター・デルタ (3コンタクト)						
駆 動 方 式	—	ベルト (オートテンショナー付き) +ギヤ増速						
潤 滑 油 充 填 量	L	15 (非充填)						
フ ァ ン モ ー タ 出 力	kW	1.1 (インバータ制御)						
ドライヤー	出口空気の露点	℃ [10 (圧力下)]						
	冷凍機公称出力	kW [1.45]						
	使 用 冷 媒	— [R410A]						
概 略 質 量	kg	1,120 [1,180]			1,230 [1,290]			
外形寸法 (幅×奥行き×高さ)	mm	1,530×1,150×1,650						
騒 音 値 (正 面 1.5m)	dB(A)	63	64	65	66	66	67	

■空冷シリーズ 45kW－75kW

項目・単位		型式	一定速機					
			DSP-45AT [R] 5N3		DSP-55AT [R] 5N3		DSP-75AT [R] 5N3	
			DSP-45AT [R] 6N3		DSP-55AT [R] 6N3		DSP-75AT [R] 6N3	
吐 出 し 圧 力		MPa	0.70	0.93	0.70	0.93	0.70	0.93
吐出し空気量 (50/60Hz)		m³/min	7.4/7.8	6.2/6.5	9.2	7.2/7.7	13.0	10.5/11.1
PQワイドモードON:0.6MPa時			－					
公 称 出 力		kW	45		55		75	
主 モ ー タ 型 式		－	2極全閉外扇フランジ型					
吸 込 み 圧 力・温 度		－	大気圧・0～45 [2～45]℃					
吐 出 し 空 気 温 度		℃	吸込み温度+15以下					
吐 出 し 管 径		B	2 (フランジ)					
電 源 電 圧 (50/60Hz)		V	200/200・220					
始 動 方 式		－	スター・デルタ (3コンタクト)					
駆 動 方 式		－	モータ直結+ギヤ増速					
潤 滑 油 充 填 量		L	25 (非充填)					
ファ ン モ ー タ 出 力		kW	1.5 (インバータ制御)				2.2 (インバータ制御)	
ドライヤー	出口空気の露点	℃	[10 (圧力下)]					
	冷凍機公称出力	kW	[2.2]				[3.0]	
	使 用 冷 媒	－	[R410A]				[R407C]	
概 略 質 量		kg	1,600 [1,750]				1,860 [2,030]	
外形寸法 (幅×奥行×高さ)		mm	2,000×1,300×1,800				2,250×1,300×1,800	
騒 音 値 (正 面 1.5m)		dB(A)	63	65	63	65	68	

■空冷シリーズ 90kW－120kW

項目・単位		型式	一定速機					
			DSP-90A5 [L] MN3		DSP-100A5 [L] MN3		DSP-120A5MN3	
			DSP-90A6 [L] MN3		DSP-100A6 [L] MN3		DSP-120A6MN3	
吐 出 し 圧 力	MPa	0.70	0.93	0.70	0.93	0.70	0.93	
吐 出 し 空 気 量	m³/min	16.6	13.9	18.0	15.4	20.5	17.3	
公 称 出 力	kW	90		100		120		
主 モ ー タ 型 式	－	2極全閉外扇フランジ型						
吸 込 み 圧 力・温 度	－	大気圧・0～45℃						
吐 出 し 空 気 温 度	℃	大気温+15以下						
吐 出 し 管 径	B	2 (フランジ)						
電 源 電 圧 (50/60Hz)	V	[200/220] 400/440				400/440		
始 動 方 式	－	スター・デルタ (3コンタクト)						
駆 動 方 式	－	モータ直結+ギヤ増速						
潤 滑 油 充 填 量	L	26 (非充填)						
フ ァ ン モ ー タ 出 力	kW	1.5×2						
概 略 質 量	kg	2,200				2,380		
外形寸法 (幅×奥行き×高さ)	mm	2,150×1,520×1,975						
騒 音 値 (正面 1.5m)	dB(A)	68	70	69	71	72	73	

- 注) 1. 吐出し空気量は、吐出し圧力時に吐き出す空気量を吸込み状態に換算した値です。
保証値は別途お問い合わせください。
2. 騒音値は正面 1.5m、高さ 1m における全負荷運転時、クーラードレン自動排出弁閉時、無響音室条件に換算した値です。また、運転条件が異なる場合や、周囲の反響の影響を受ける実際の据え付け状態では、表示値より大きくなります。
PQワイドモードON時は騒音値が約2dB増加することがあります。
3. ドライヤー内蔵型の出口空気の露点は、周囲温度30℃、入気温度45℃、定格圧力の場合の値です。ドライヤー内蔵型は使用圧力が低くなる程、ドライヤー露点が悪化します。
PQワイドモードON時で吐出し圧力0.7MPa以下での運転時には出口空気露点は高くなり、吐出し圧力0.6MPa時では約3℃増加します。
4. ドライヤー内蔵型の吐出し空気量は、ドレン凝縮時に最大3％減少します。
5. 防塵仕様 (オプション) 時には吸込み温度上限は40℃となります。
6. 漏電ブレーカーは本機には内蔵しておりませんので、お客さまにてご用意ください。
7. 本圧縮機は圧縮空気を直接吸引する呼吸器系の機器には使用しないでください。

8. 吐出し圧力はゲージ圧力です。
9. 設置場所は、屋内とし、爆発性、腐食性のない環境で、湿気、塵埃の少ない場所としてください。
10. 外観・仕様などについては予告無く変更することがあります。
11. 外形寸法は、配管・突起部位等の寸法は含みません。詳細は図面をご参照ください。



仕様表

■水冷シリーズ 45kW－75kW

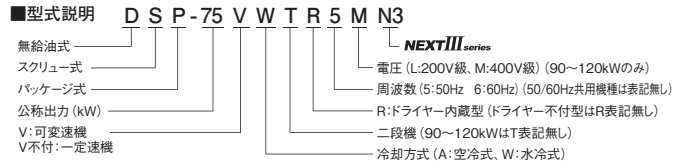
項目・単位		型式	一定速機											
			DSP-45WT [R] 5N3		DSP-55WT [R] 5N3		DSP-75WT [R] 5N3							
			DSP-45WT [R] 6N3		DSP-55WT [R] 6N3		DSP-75WT [R] 6N3							
吐 出 し 圧 力		MPa	0.70		0.93		0.70		0.93					
吐 出 し 空 気 量 (50/60Hz)		m³/min	7.5/7.9		6.4/6.7		9.4		7.4/7.9		13.2		10.7/11.3	
PQワイドモードON:0.6MPa時			－											
公 称 出 力			kW	45				55				75		
主 モ ー タ 型 式		－	2極全閉外扇フランジ型											
吸 込 み 圧 力・温 度		－	大気圧・0～ 45 [2～45]℃											
吐 出 し 空 気 温 度		℃	冷却水温+13以下											
吐 出 し 管 径		B	2 (フランジ)											
電 源 電 圧 (50/60Hz)		V	200/200・220											
始 動 方 式		－	スター・デルタ (3コンタクト)											
駆 動 方 式		－	モータ直結+ギヤ増速											
潤 滑 油 充 填 量		L	15 (非充填)											
フ ァ ン モ ー タ 出 力		kW	0.05×2											
冷 却 水 量		L/min	90						120					
冷 却 水 温 度		℃	35以下											
冷 却 水 管 径		B	Rc 1・1/4											
ドライヤー	出口空気の露点	℃	[10 (圧力下)]											
	冷凍機公称出力	kW	[2.2]						[3.0]					
	使用冷媒	－	[R410A]						[R407C]					
概 略 質 量		kg	1,580 [1,730]						1,710 [1,880]					
外形寸法(幅×奥行×高さ)		mm	2,000×1,300×1,800											
騒 音 値 (正 面 1.5m)		dB(A)	63				63				65		66	

■水冷シリーズ 90kW－120kW

項目・単位		型式	一定速機					
			DSP-90W5 [L] MN3		DSP-100W5 [L] MN3		DSP-120W5MN3	
			DSP-90W6 [L] MN3		DSP-100W6 [L] MN3		DSP-120W6MN3	
吐 出 し 圧 力	MPa	0.70	0.93	0.70	0.93	0.70	0.93	
吐 出 し 空 気 量	m³/min	16.8	14.0	18.3	15.6	21.0	17.6	
公 称 出 力	kW	90		100		120		
主 モ ー タ 型 式	—	2極全閉外扇フランジ型						
吸 込 み 圧 力・温 度	—	大気圧・0 ～ 45℃						
吐 出 し 空 気 温 度	℃	冷却水温+13以下						
吐 出 し 管 径	B	2 (フランジ)						
電 源 電 圧 (50/60Hz)	V	[200/220] 400/440				400/440		
始 動 方 式	—	スター・デルタ (3コンタクト)						
駆 動 方 式	—	モータ直結+ギヤ増速						
潤 滑 油 充 填 量	L	16 (非充填)						
フ ァ ン モ ー タ 出 力	kW	[0.2×2] 0.05×3				0.05×3		
冷 却 水 量	L/min	160				180		
冷 却 水 温 度	℃	35以下						
冷 却 水 管 径	B	Rc 1・1/2						
概 略 質 量	kg	2,050				2,230		
外形寸法 (幅×奥行×高さ)	mm	2,150×1,520×1,825						
騒 音 値 (正 面 1.5m)	dB(A)	66	68	67	69	69	70	

- 注) 1. 吐出し空気量は、吐出し圧力時に吐き出す空気量を吸込み状態に換算した値です。
保証値は別途お問い合わせください。
2. 騒音値は正面 1.5m、高さ 1m における全負荷運転時、クーラードレン自動排出弁閉時における無響音室での値です。また、運転条件が異なる場合や、周囲の反響の影響を受ける実際の据え付け状態では、表示値より大きくなります。
PQワイドモードON時は騒音値が約2dB増加することがあります。
3. ドライヤー内蔵型の出口空気の露点は、周囲温度30℃、入気温度45℃、定格圧力の場合の値です。ドライヤー内蔵型は使用圧力0.4MPa以下の場合にはドライヤー露点が大幅に悪化します。
PQワイドモードON時で圧力0.7MPa以下での運転時には出口空気露点は高くなり、吐出し圧力0.6MPa時では約3℃増加します。
4. ドライヤー内蔵型の吐出し空気量は、ドレン凝縮時に最大3％減少します。
5. 防塵仕様 (オプション) 時には吸込み温度上限は40℃となります。
6. 漏電ブレーカーは本機には内蔵しておりませんので、お客さまにてご用意ください。
7. 本圧縮機は圧縮空気を直接吸引する呼吸器系の機器には使用しないでください。

8. 吐出し圧力はゲージ圧力です。
9. 冷却水の水質は、日本冷凍空調工業会標準規格JRA-GL-02・1994準拠としてください。
10. 設置場所は、屋内とし、爆発性、腐食性のない環境で、湿気、塵埃の少ない場所としてください。
11. 外観・仕様などについては予告無く変更することがあります。
12. 外形寸法は、配管・突起部位等の寸法は含みません。詳細は図面をご参照ください。



ラインアップ
F11Wへのご案内

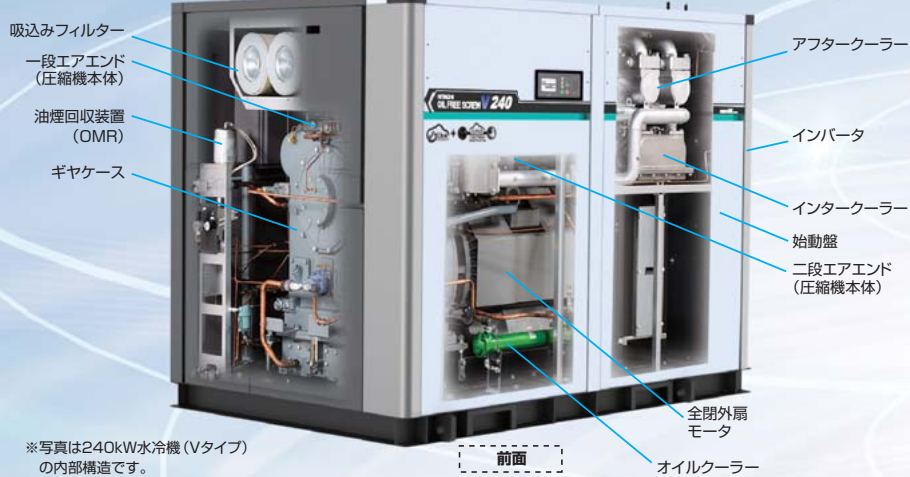
タイ

DSP 132-240kW Two Stage *NEXT III* series

132kW - 240kW

省エネ性能と充実のIT機能で大型二段機は *NEXT III* series へと進化させました。

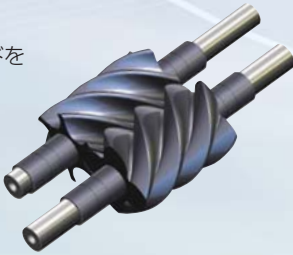
※Vタイプは160/240kWのみ



高効率化

高効率エアエンド搭載

日立独自の新開発高効率エアエンドを搭載し、大空気量化を実現しました。



低騒音化・低振動化

低騒音化・低振動化設計

駆動部の防振支持構造の改良を図り、固体伝播音を低減しました。
あわせて吸排気音の低減を図るなど、低騒音化を実現しました。

省エネルギーのご提案

Vタイプ (可変速機) と一定速機による組み合わせ方法により、さまざまな運転での省電力が可能です。

台数制御を行わずに圧縮機2~3台で簡単に省電力運転をしたい。

VMコンビシステム

Vタイプと一定速機を組み合わせた新しい省エネ運転

台数制御でさらに省電力運転をしたい。

Single-V 台数制御システム

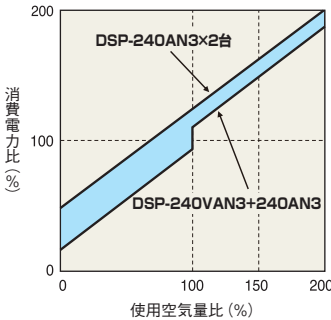
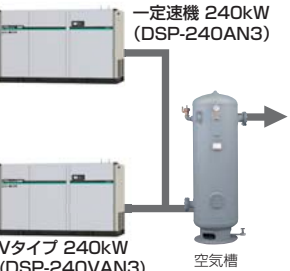
台数制御にVタイプを組み合わせ簡単に省エネ運転

台数制御以上の省電力効果を出し、かつ運転時間も平準化したい。

Multi-V 台数制御システム

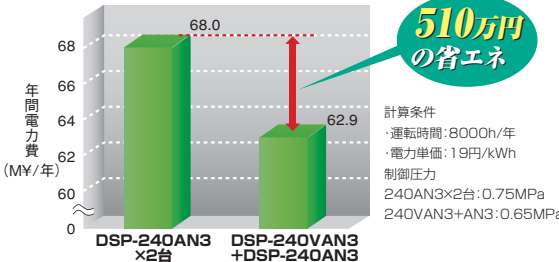
すべてVタイプとし運転時間平準化で省エネ運転

VMコンビ基本システム例 (240kW×2台の例)



VMコンビシステムにすることによって、 次のような効果があらわれます。

使用空気量比150%時で年間510万円の省エネ。
使用空気量比150%時の年間電力費比較



仕様表

■ 空冷シリーズ 132kW-240kW

項目・単位		型式	DSP-132A5N3 DSP-132A6N3			DSP-145A5N3 DSP-145A6N3			DSP-160A5N3 DSP-160A6N3			DSP-200A5N3 DSP-200A6N3			DSP-240A5N3 DSP-240A6N3					
			0.75	0.93	1.0	0.75	0.93	1.0	0.75	0.93	1.0	0.75	0.93	1.0	0.75	0.93	1.0			
吐出し圧力	MPa	0.75	0.93	1.0	0.75	0.93	1.0	0.75	0.93	1.0	0.75	0.93	1.0	0.75	0.93	1.0				
吐出し空気量	m³/min	22.5	20.0	19.0	25.0	21.4	20.0	27.5	23.9	22.5	37.0	32.2	30.0	40.0	35.0	32.5				
吸込み圧力・温度	—	大気圧・0 ~ 45℃																		
駆動方式	—	モータ直結+ギヤ増速																		
吐出し空気温度	℃	大気温+15以下																		
吐出し管径	B	2・1/2 (フランジ)										3 (フランジ)								
公称出力	kW	132			145			160			200			240						
主モータ型式	—	4極全開外扇フランジモータ																		
始動方式	—	スターデルタ (3コンタクト)																		
電源電圧 (50 / 60Hz)	V	400/440																		
ファンモータ出力	kW	4.4 (1.1×4)										6.0 (1.5×4)								
潤滑油充填量	L	50 (非充填)										60 (非充填)								
概略質量	kg	3,860										3,960			5,000					
外形寸法 (幅×奥行×高さ)	mm	2,900×1,700×1,925										3,200×1,880×1,950								
騒音値 (正面1.5m)	dB(A)	73	74		74	75		74	75		76	77		77		78				

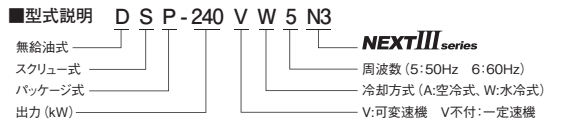
■ 水冷シリーズ 132kW-240kW

項目・単位		型式	DSP-132W5N3 DSP-132W6N3			DSP-145W5N3 DSP-145W6N3			DSP-160W5N3 DSP-160W6N3			DSP-200W5N3 DSP-200W6N3			DSP-240W5N3 DSP-240W6N3		
			0.75	0.93	1.0	0.75	0.93	1.0	0.75	0.93	1.0	0.75	0.93	1.0	0.75	0.93	1.0
吐出し圧力	MPa	23.4	20.7	19.6	26.0	22.2	20.6	28.5	24.8	23.2	37.0	32.2	30.0	40.5	35.0	32.5	
吐出し空気量	m³/min																
吸込み圧力・温度	—	大気圧・0～45℃															
駆動方式	—	モータ直結＋ギヤ増速															
吐出し空気温度	℃	冷却水温度＋13以下															
吐出し管径	B	2・1/2 (フランジ)									3 (フランジ)						
冷却水量	L/min	200			210			240			300			330			
冷却水温度	℃	35以下															
冷却水管径	B	2															
公称出力	kW	132			145			160			200			240			
主モータ型式	—	4極全開外扇フランジモータ															
始動方式	—	スターデルタ (3コンタクト)															
電源電圧 (50／60Hz)	V	400/440															
ファンモータ出力	kW	0.4															
潤滑油充填量	L	40 (非充填)									50 (非充填)						
概略質量	kg	3,760									4,600						
外形寸法 (幅×奥行×高さ)	mm	2,500×1,600×1,925									2,800×1,800×1,950						
騒音値 (正面1.5m)	dB(A)	68	69		69	70		69	70		69	70		70	71		

■ 空冷/水冷インバータシリーズ 160kW/240kW

項目・単位		型式	DSP-160VA5N3 DSP-160VA6N3			DSP-240VA5N3 DSP-240VA6N3			DSP-160VW5N3 DSP-160VW6N3			DSP-240VW5N3 DSP-240VW6N3		
吐出し圧力	MPa	0.75	0.93	1.0	0.75	0.93	1.0	0.75	0.93	1.0	0.75	0.93	1.0	
吐出し空気量	m³/min	27.5	23.9	22.5	40.0	35.0	32.5	28.5	24.8	23.2	40.5	35.0	32.5	
吸込み圧力・温度	—	大気圧・0 ~ 45℃												
駆動方式	—	モータ直結+ギヤ増速												
吐出し空気温度	℃	大気温+15以下						冷却水温度+13以下						
吐出し管径	B	2・1/2 (フランジ)			3 (フランジ)			2・1/2 (フランジ)			3 (フランジ)			
冷却水量	L/min	—			—			240			330			
冷却水温度	℃	—						35以下						
冷却水管径	B	—						2						
公称出力	kW	160			240			160			240			
主モータ型式	—	4極全開外扇フランジモータ												
始動方式	—	インバータ												
電源電圧 (50 / 60Hz)	V	400/440												
ファンモータ出力	kW	4.4 (1.1×4)			6.0 (1.5×4)			0.4						
潤滑油充填量	L	50 (非充填)			60 (非充填)			40 (非充填)			50 (非充填)			
概略質量	圧縮機	kg			3,960			5,000			3,960			
	インバータ盤	kg			400			540			—			
外形寸法 (幅×奥行×高さ)	圧縮機	mm			2,900×1,700×1,925			3,200×1,880×1,950			2,500×1,600×1,925			
	インバータ盤	mm			690×1,175×1,760			810×1,360×1,760			—			
騒音値 (正面1.5m)	dB(A)	74	75	75	77	78	78	70	70	70	71	71	71	

- 注) 1. 吐出し空気量は、吐出し圧力時に吐出す空気量を吸込み状態に換算した値です。保証値は別途お問い合わせください。
2. 騒音値は正面1.5m、高さ1mにおける全負荷運転時、クーラードレン自動排出弁閉時における無響音室での値です。
また、運転条件が異なる場合や、周囲の反響の影響を受ける実際の据え付け状態では、表示値より大きくなります。
3. 防塵仕様 (オプション) 時には吸込み温度上限は40℃になります。また、空冷機の吐出し空気温度は大気温+18℃以下になります。
4. 漏電ブレーカは本機には内蔵しておりませんので、お客さまにてご用意ください。
5. 本圧縮機は圧縮空気を直接吸引する呼吸器系の機器には使用しないでください。
6. 吐出し圧力はゲージ圧力を示します。
7. 冷却水の水質は、日本冷凍空調工業会標準規格JRA-GL-02-1994準拠としてください。
8. 設置場所は、屋内とし、爆発性、腐食性のない環境で、湿気、塵埃の少ない場所としてください。
9. 外観、仕様などについては予告なく変更することがあります。
10. 外形寸法は背面ダクトおよび配管・突起部位等の寸法は含みません。詳細は図面をご参照ください。
11. 空冷Vタイプのインバータ盤は別置きになります。



DSP 15-55kW Single Stage / DSP 22-240kW Two Stage *NEXT III* series (共通)

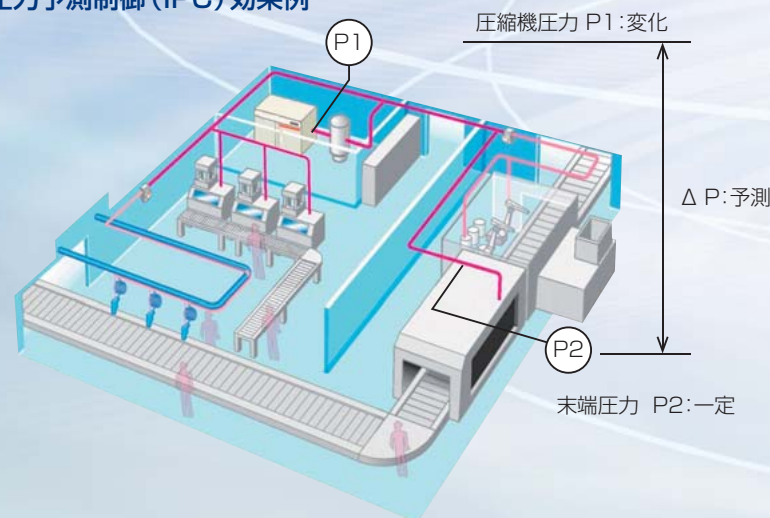
15kW - 240kW

NEXT III series ならではの省エネ制御と
IT通信機能で次世代コンプレッサーへの道を開きます。

IPC制御 (末端圧力予測制御)

使用空気量に応じて末端までの圧力を予測し、低負荷時の圧縮機出口の圧力を低下させることで省エネ運転を行います。

末端圧力予測制御 (IPC) 効果例



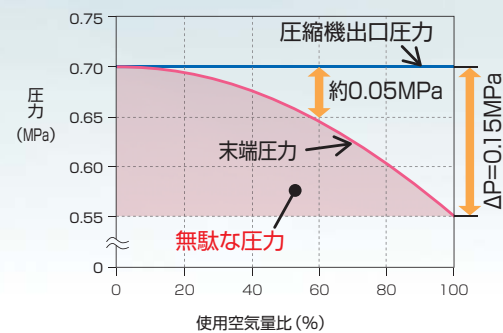
試算例

- 圧縮機: DSP-37VATN3
- 制御圧力設定: 0.70MPa
- 全負荷時末端圧力: 0.55MPa
- 全負荷時配管圧力損失: 0.15MPa

圧力変化グラフ (理論値)

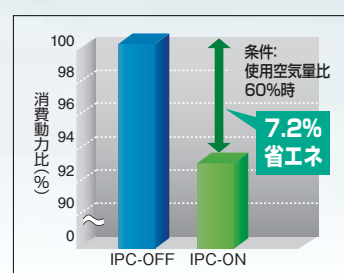
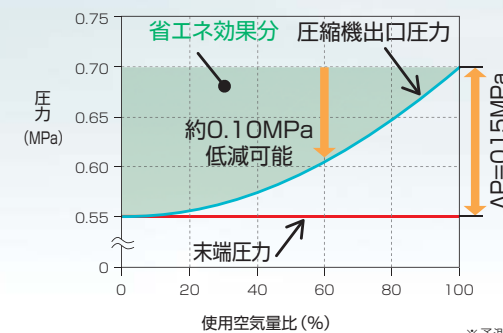
① IPC-OFF

・圧縮機出口を0.70MPaに制御



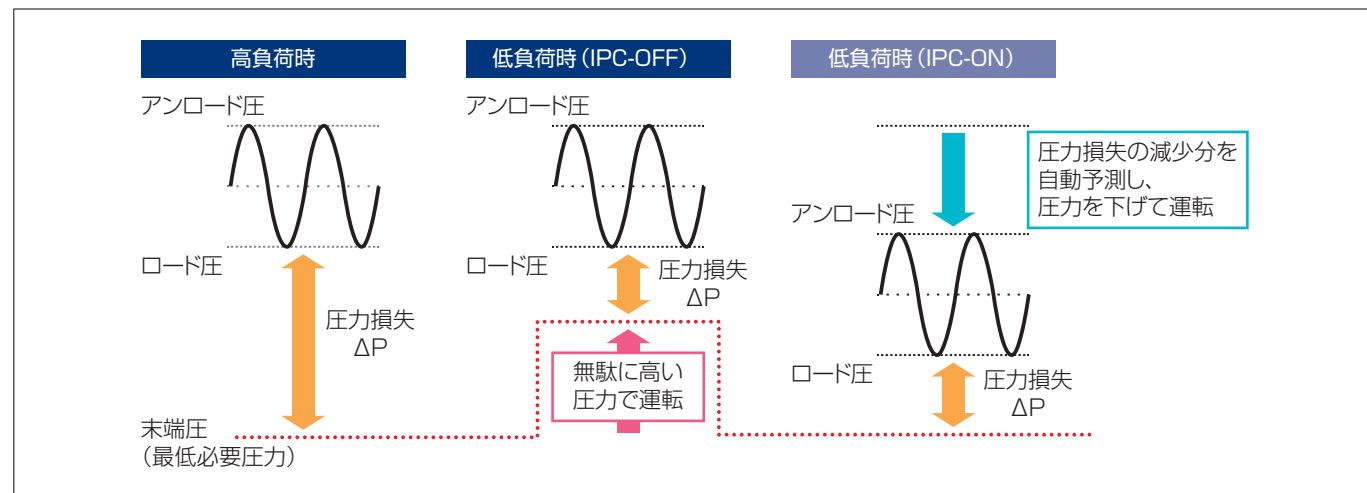
② IPC-ON

・末端圧力を0.55MPaに制御



※予測制御のため末端圧力は使用条件により変動します。

制御イメージ



大きく広がりつつあるコンプレッサーの役割。省エネ運転や容易なタッチ操作はもちろんのこと、充実したIT通信機能を装備しました。データをUSBメモリーに取り出したり、タブレット端末*による運転状況確認や、監視システムとの連携をしたりなど、次世代コンプレッサーに求められるニーズにお応えします。

※適用タブレット端末については取扱い説明書をご参照ください。

充実のIT通信機能

USBメモリー対応

運転データのUSB保存機能により、CSVデータ形式での外部取り出しが可能。省エネ運転の検討に活用できます。

※USBメモリー (長さ5.5cm以下装着可能) はお客さまにてご用意ください
※1日の運転データで約400kBが目安です

Bluetooth®経由Webサーバ機能

タブレット端末のWeb画面を使い、圧縮機の運転状況の確認や設定確認・変更が可能。これまでにない操作環境が実現できます。

※Bluetooth®のUSB dongleはお客さまにてご用意ください
※設定変更は一部の項目を対象

Modbus®通信対応

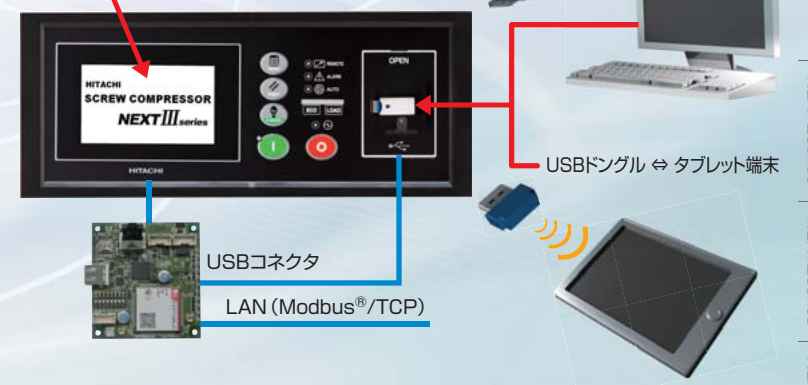
オープンネットワークのシリアル通信Modbus®/RTUを標準サポート。お客さまが利用している上位監視システムへの接続が容易です。

※Modbus®/TCPはオプションでサポート

・Modbusは、Schneider Automation Inc.の登録商標または商標です。
・Bluetoothは米国Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。

USBメモリー (データ取り出し)
【標準】圧力/温度/電流/来歴/時間

カラータッチパネル (画面はハメコミ合成です。)



多機能タッチパネル

操作性の大幅な向上

カラー液晶タッチパネルを全モデルに標準装備。設定したい項目を直接タッチし、テンキーで入力、操作性が大幅に向上しました。

多彩な運転機能を用意

「スケジュール予約運転」はもちろん、5秒間 (最大20秒間) の停電に対し再起動が可能な「瞬停再起動」、低負荷時の「自動停止機能」など多彩な運転機能を用意しました。

運転データのロギング機能

圧力や温度、電流、警報故障来歴などの運転データを記録し、その場で液晶画面から確認できます。

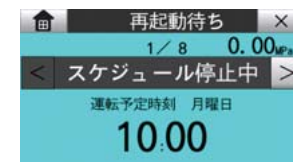


※画面はハメコミ合成です。

モニター表示



お知らせ表示



E-MODE



主な機能

- ・E-MODE
- ・予約運転 (ウィークリータイマー)
- ・瞬停再起動機能
- ・交互運転機能 (オプション)
- ・台数制御機能 (オプション)
- ・AUTO運転機能
- ・通信機能
- ・Webサーバ機能
- ・運転データ表示、保存
- ・設定保存、読み込み
- ・定期点検表示
- ・運転データ記憶、グラフ表示
- ・警報故障履歴表示

ラインアップ

FitLiveのご提案

タイプ説明

DSP 15-55kW Single Stage NEXT III series

DSP 22-240kW Two Stage NEXT III series

DSP 132-240kW Two Stage NEXT III series

DSP 15-55kW Single Stage NEXT III series (共通)

オプション仕様

周辺機器

省エネ利器のご提案

ご注意

計測診断

クラウドネットワーク

主要オプション対応表

■ 対応表

シリーズ名	DSP <i>NEXT III</i> series					
圧縮段数	単段		二段			
制御方式	可変速機	一定速機	可変速機	一定速機	可変速機	一定速機
出力 (kW)	22-55	15-55	37-100	22-120	160/240	132-240
						
オイルミストリムーバ(OMR)	標準装備	標準装備	標準装備	標準装備	標準装備	標準装備
瞬 停 再 起 動 回 路	標準装備	標準装備	標準装備	標準装備	標準装備	標準装備
台 数 制 御 盤 対 応	●	●	●	●	●	●
交 互 運 転 盤 対 応	●	●	●	●	●	●
交 互 運 転 機 能	●	●	●	●	●	●
A U T O 運 転 機 能	標準装備	標準装備	標準装備	標準装備	標準装備	標準装備
V - M コ ン ビ 対 応	●	—	●	—	●	—
Modbus®/TCP(LAN)対応	●	●	●	●	●	●
操 作 電 圧 1 0 0 V 対 応	●	●	●	●	●	●
簡易パッケージフィルター	●	●	●	●	●	●
防 塵 フ ィ ル タ ー	●	●	●	●	●	●
防 音 カ バ ー 指 定 色	●	●	●	●	●	●
フードグレードオイル対応	●	●	●	●	●	●
4 0 0 V 対 応	●	●	●※2	●※3	標準対応	標準対応
高 電 圧 (3 0 0 0 V) 対 応	—	—	—	—	—	●※4

注) ※1 一定速機のV-Mコンビ対応はAUTO運転仕様となりますので、改造は必要ありません。
※2 100kW可変速機に200V級仕様はありません。400V級仕様が標準となります。
※3 90/100/120kW一定速機は400V級仕様対応となります。また、120kW一定速機に200V級仕様はありません。
※4 高電圧仕様は水冷機のみ対応且つNEXTシリーズでの対応となります。

HITACHI FOOD GRADE ROTARY COMPRESSOR OIL 日立食品機械用潤滑油

高まる「食の安全」に対する期待にお応えするために開発された潤滑油

日立オイルフリー圧縮機DSPシリーズにおいて、食品業界向けへHACCP※1に対応した日立食品機械用潤滑油「HITACHI FOOD GRADE ROTARY COMPRESSOR OIL」を開発、「食の安全」に対する期待にお応えした潤滑油です。



Nonfood Compounds
Program Listed H1
NSF-Reg.No. 150658



特長

世界的な衛生管理手法HACCP※1に対応しています。
米国FDA※2が規定した安全な材料を使用しています。
米国NSFインターナショナル※3によりH1グレード※4に認証登録されています。
日立スクリー圧縮機HISCREW、DSPシリーズに共通して使用できる専用油です。

※1 Hazard Analysis Critical Control Point (危害要因分析に基く必須管理点)
※2 Food and Drug Administration (米国食品医薬品局)
※3 National Sanitation Foundation International (国際衛生科学財団)
※4 偶発的に食品に触れる可能性がある個所で使用できる潤滑油。
原料は米国食品医薬品法FDA21CFR178.3570で規定されたもののみ使用可

■ 仕様表

項目	内容
ISO 粘 度 グ レ ード	32
色 相	無色透明
密 度 @ 15℃ (kg/L)	0.84
動 粘 度 @ 40℃ (mm²/s)	32.8
引 火 点 (℃)	> 200
流 動 点 (℃)	< -50
内 容 量 (L)	20
交 換 サ イ ク ル	HISCREW: 3,000時間または1年の早い方 DSP : 8,000時間または1年の早い方
異 種 潤 滑 油 か ら の 変 更	*専用フラッシングオイル (新油 20L缶) で 約1時間フラッシング後本油充填
荷 姿	ポリタンク入り
質 量 (kg)	約18

注) 1. 本油、フラッシングオイル 危険等級：危険等級Ⅲ 第4類第4石油類
2. 市販潤滑油〔鉱物油〕から当該油に交換する際は、必ず最寄りのサービスまたは当社営業にご相談ください。

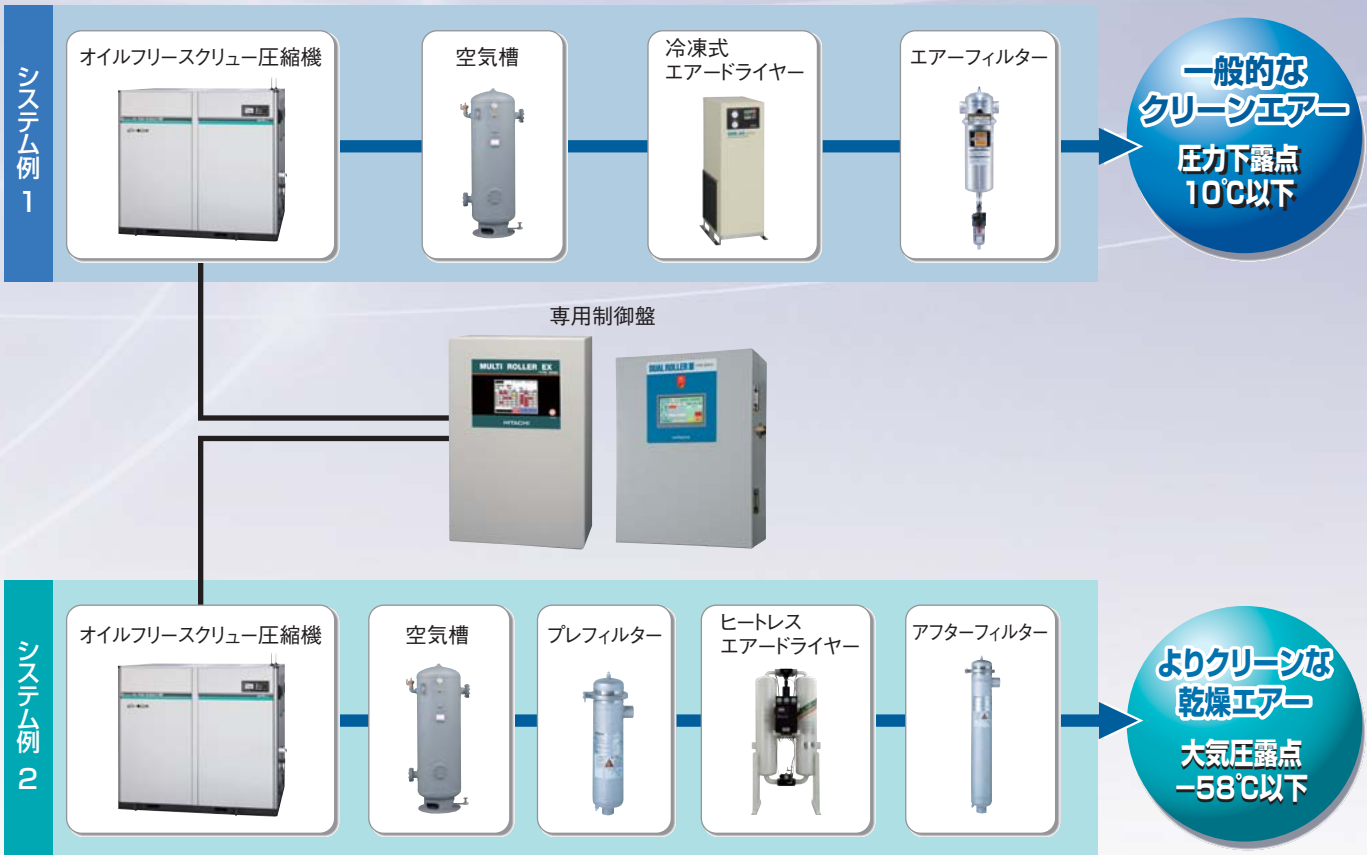
【フードグレードオイル】(部品番号:59003171)
*【フラッシングオイル】(部品番号:59003180)

周辺機器

環境保全、省エネ、省力に配慮したエアークオリティを高めるさまざまな周辺機器。

圧縮設備を効果的に、かつシステムのにご使用いただくためにも次の周辺機器を圧縮機とともに利用されることをおすすめいたします。

圧縮機エアーシステム例



専用制御盤

組み合わせる空気圧縮機の機種に応じて、専用制御盤の仕様異なる場合があります。ご用命の際はご使用になる空気圧縮機の機種をご確認ください。

台数制御コントローラー
(マルチローラー EX)

複数台の圧縮機を効率よく運転し、無駄なアンロード運転を排除。瞬停再起動、Vタイプ対応制御、圧力予測制御など標準装備し、大幅に機能アップしました。
オプションの「MRマネージャー」によりパソコンによる遠隔監視・運転操作が可能です。



交互運転制御コントローラー
(デュアルローラーⅢ)

2台の圧縮機を効率よく運転制御するとともに、自動発停機能を装備していない既納機との組み合わせや予備機のバックアップ運転、運転時間の平均化にも役立ちます。



■ 仕様表

項目		型式		SDR-3	
制御対象圧縮機		遠方操作対応の圧縮機 2台 (同一仕様)			
電 源、周 波 数		単相AC100/200V±10%、50/60Hz (共用)			
入	力	周波数×2		4~20mA	
		遠方 (接続準備)×2		無電圧接点接続 (a接点) DC24V	
		運転 (運転アンサー)×2			
出	力	故障×2		無電圧1,500ms パルスAC250V0.3A 無電圧AC250V0.3A a接点 b接点 c接点 a接点	
		運転×2			
		停止×2			
		ロード/アンロード指令×2			
		状態×2			
圧 力 検 出		圧力センサー (0~1MPa) 内蔵 ※オプションで2MPa対応可			
運 転 機 能		交互・追従 (圧力/故障) 運転、交互・間隔運転、スケジュール運転			
標 準 装 備 機 能		初期充気、警報来歴、瞬停再起動、中央操作			
寸 法 (mm)		幅300×奥行160×高さ400			
質 量 (kg)		10			


注) 1. 圧縮機は遠方操作、運転、故障、遠方信号の端子出しが必要。 4. DCBL機に使用される場合は、別途圧縮機側に交換機の取付けが必要となります。
2. 本システムはSDR-3本体のみで配線は対象外です。 5. 本機のアンロード停止スイッチはDSP一定速機にのみ有効です。
3. 最小圧力幅に設定する場合は別途ご相談ください。

注) 1. 最小圧力幅に設定する場合は別途ご相談ください。
2. NEXT series/NEXT II series/NEXT III seriesとの接続は可能です。


3タイプのフィルターがミクロン単位の固形物や臭気を除去。

ラインフィルター


圧縮空気の汚れを除去し、クリーンエアーを供給



エアーフィルター
1〜3ミクロン※¹以上の固形物を除去します。



ミクロミストフィルター
0.01ミクロン以上の油分・固形物を除去します。
出口油分濃度0.01wtppm※²



活性炭フィルター
ベーパー状(臭い)のオイル粒子を吸着除去します。出口油分濃度0.003wtppm※³

仕様表

共通項目	項目		型式	7.5BX	11BX	15BX	22B	37B	55B	75B	100B	125C	160C	200C	240B	
	処理空気条件	処理空気量(大気圧換算)	m³/min	1.2	1.8	2.4	3.9	6.6	10.6	13.8	20	27.6	32	40	50	
		入口空気温度	℃	30												
		入口空気圧力	MPa	0.69												
	使用条件	使用流体	—	圧縮空気												
最高使用圧力		MPa	1.57					0.97								
配管接続口径	B (A)	Rc3/4 (20)	Rc1 (25)		Rc1 (25)	Rc1½ (40)	Rc1½ (40)	Rc2 (50)	Rc2 (50)	2½フランジ(65)	3フランジ(80)	3フランジ(80)	47フランジ(100)			
	容器材質	—	アルミ合金					ステンレス								
エアフィルター	項目		型式	HAF-7.5BX	HAF-11BX	HAF-15BX	HAF-22B	HAF-37B	HAF-55B	HAF-75B	HAF-100B	HAF-125C	HAF-160C	HAF-200C	HAF-240B	
	使用条件	入気温度範囲	℃	5～60												
		周囲温度範囲	℃	2～60												
	濾過度		μm	1※1												
	捕集効率		%	99.999												
	圧力降下	初期	MPa	0.005以下												
		エレメント交換	MPa	0.07												
	外形寸法(面間距離×全長)		mm	92×237	130×290.5		160×509	170×591	170×699	173×792	173×949	590×1,511	590×1,511	590×1,511	640×1,735	
	ドレン排出口径		B (A)	Rc1/4 (8)												
	質量		kg	1	2	2.1	3	3.3	3.7	4.3	6	41	43	43	73	
ミクロミストフィルター	項目		型式	HMF-7.5BX	HMF-11BX	HMF-15BX	HMF-22B	HMF-37B	HMF-55B	HMF-75B	HMF-100B	HMF-125C	HMF-160C	HMF-200C	HMF-240B	
	使用条件	入気温度範囲	℃	5～60												
		周囲温度範囲	℃	2～60												
	出口油分濃度		wtppm	0.01※2												
	圧力損失	初期	MPa	0.01												
		エレメント交換	MPa	0.07												
	外形寸法(面間距離×全長)		mm	92×237	130×364		160×582	170×664	170×772	173×865	173×1,022	590×1,511	590×1,511	590×1,511	640×1,735	
	ドレン排出口径		B (A)	Rc1/4 (8)												
	質量		kg	1	2	2.1	3	3.3	3.7	4.3	6	41	43	43	73	
	活性炭フィルター	項目		型式	HKF-7.5BX	HKF-11BX	HKF-15BX	HKF-22B	HKF-37B	HKF-55B	HKF-75B	HKF-100B	HKF-125C	HKF-160C	HKF-200C	HKF-240B
使用条件		入気温度範囲	℃	5～60												
		周囲温度範囲	℃	2～60												
出口油分濃度		wtppm	0.003※3													
圧力損失		MPa	0.007													
外形寸法(面間距離×全長)		mm	92×232	130×281.5		160×308	170×390	170×498	173×591	173×748	590×1,511	590×1,511	590×1,511	640×1,735		
質量		kg	1	2		3	3.3	3.7	4.3	6	41	43	43	73		

●本フィルターの前段には、必ずエアードライヤーを設置してください。
注)※1 入口油分濃度3wtppm。
※2 入口油分濃度3wtppm。油分濃度の測定方法はISO8573-2「油分試験方法」によります。
※3 入口油分濃度0.01wtppm。油分濃度の測定方法はISO8573-2「油分試験方法」によります。
※4 配管・突起部位等の寸法は含みません。詳細は図面をご参照ください。

高性能・高機能で、高品質のドライエアーを供給。

冷凍式エアードライヤー

豊富な機種と高性能で高品質のドライエアーを供給



HFC冷媒 R407C 採用



HDR-7.5AXI

仕様表

項目・単位		型 式	HDR-7.5AXI	HDR-15AX2	HDR-22AX2	HDR-37AX2	HDR-55AX	HDR-75AX	HDR-100AX
処理空気量(50/60Hz)		m³/min	1.3/1.4	2.5/2.9	4.0/4.3	6.8/7.4	10.8/11.3	15.0/15.7	19.0/20.0
使用圧力範囲		MPa	0.3〜0.97						
最高圧縮空気入口温度		℃	80						
周囲温度		℃	5〜40						
出口空気の露点		℃	圧力下10以下						
電源(50/60Hz)		V	三相200/200・220						
消費電力(50/60Hz)		W	360/440	620/740	1,050/1,310	1,330/1,670	2,580/3,000	3,340/3,980	4,500/5,020
凝縮器冷却方式		—	強制空冷						
冷却制御装置		—	エゼクター						
容量制御装置		—	ホットガスバイパス弁						
使用冷媒		—	R407C						
冷媒封入量		g	250	380	600	1,000	1,000	1,650	2,000
塗装色		—	アイボリー						
配管口径		B	Rc 1			Rc 1・1/2		Rc 2	Rc 2・1/2
外形寸法(幅×奥行×高さ)		mm	303×603×720			356×513×1,067	356×513×1,274	356×903×1,274	406×1,400×1,380
質量		kg	44	46	74	87	135	170	280
付属品		—	オートドレントラップ、バルブ、基礎ボルト						

注) 1. 処理空気量、出口空気の露点は周囲温度30℃、入口空気温度45℃、入口空気圧力0.7MPaにおける値です。
2. 使用圧力範囲を下回る運転圧力で使用する場合には、ドライヤー露点が大幅に悪化します。
3. 電気用品取締法は適用外です。
4. 外形寸法は突起物を除く寸法です。
5. 入気に固形物(錆等)が混入する恐れがある場合はドライヤー―次側にプレフィルターを設けてください。
6. 配管・突起部位等の寸法は含みません。詳細は図面をご参照ください。



HFC冷媒 R407C 採用



HDR-150AX

大型シリーズ 仕様表

項目・単位		型 式	HDR-120WX	HDR-150WX	HDR-190WX	HDR-240WX	HDR-300WX	HDR-380WX	HDR-120AX	HDR-150AX	HDR-190AX	HDR-240AX	HDR-300AX	HDR-380AX
処理空気量 (50/60Hz)		m³/min	21/25	27/31	35/41	42/49	51/60	64/75	20/23	25/30	32/38	38/45	47/55	59/69
使 用 圧 力 範 囲		MPa	0.3～0.97				0.3～0.93		0.3～0.97				0.3～0.93	
最高圧縮空気入口温度		℃	60											
周 囲 温 度		℃	2～40											
出 口 空 気 の 露 点		℃	圧力下10以下											
電 源 (5 0 / 6 0 H z)		V	三相200/200-220											
消 費 電 力 (50/60Hz)		W	2,100/ 2,600-2,500	3,100/ 3,800-3,700	4,600/ 5,300-5,200	3,500/ 4,400-4,300	5,100/ 5,700-5,700	6,500/ 7,600-7,500	2,900/ 3,800-3,600	3,700/ 4,800-4,700	5,600/ 6,600-6,500	4,600/ 5,700-5,600	5,900/ 6,800-6,800	8,600/ 10,100-10,000
凝 縮 器 冷 却 方 式		—	水冷						強制空冷					
冷 却 制 御 装 置		—	キャピラリーチューブ											
容 量 制 御 装 置		—	ホットガスバイパス弁											
使 用 冷 媒		—	R407C											
冷 媒 封 入 量		g	1,900	2,000	2,700	3,400	4,000	4,000	2,200	3,600	3,500	4,400	5,000	6,000
塗 装 色		—	アイボリー											
冷 却 水 量		m³/h	2.5/2.9	2.7/3.0	3.0/3.2	3.6/3.8	3.4/4.0	4.3/5.0	—					
配 管 口 径		B	2・1/2(フランジ)		3(フランジ)		4(フランジ)		5(フランジ)		2・1/2(フランジ)		3(フランジ)	
外 形 寸 法 (幅 × 奥 行 き × 高 さ)		mm	672×1,260 x1,276		950×1,290×1,332		1,969×905 x1,583		2,020×1,100×1,650		672×1,260 x1,276		950×1,290×1,332	
質 量		kg	238		346		344		534		792		872	
付 属 品		—	オートドレントラップ、バルブ											

注) 1. 処理空気量、出口空気の露点は周囲温度32℃、入口空気温度40℃、入口空気圧力0.69MPaにおける値です。
2. 使用圧力範囲を下回る運転圧力で使用する場合には、ドライヤー露点が大幅に悪化します。
3. 電気用品取締法は適用外です。
4. 外形寸法は突起物を除く寸法です。
5. 入気に固形物(錆等)が混入する恐れがある場合はドライヤー―次側にプレフィルターを設けてください。
6. HDR-240〜380AX/WXは、第二種压力容器対象品です。

豊富な機種と高性能で環境改善のニーズに対応。

ヒートレスエアドライヤー

高効率・小型化を実現し、高品質なドライエアーを供給

■ ヒートレスエアドライヤー 仕様表

項目・単位	型 式	大気圧露点－58℃シリーズ (HDK-AⅡシリーズ)							大気圧露点－73℃シリーズ (HDK-AXⅡシリーズ)							
		HDK-20AⅡ	HDK-40AⅡ	HDK-60AⅡ	HDK-80AⅡ	HDK-100AⅡ	HDK-140AⅡ	HDK-200AⅡ	HDK-20AXⅡ	HDK-40AXⅡ	HDK-60AXⅡ	HDK-80AXⅡ	HDK-100AXⅡ	HDK-140AXⅡ	HDK-200AXⅡ	
出口露点温度	－	大気圧－58℃(圧力下－40℃)							大気圧－73℃(圧力下－57℃)							
最大入口流量(注)	Nm ³ /min	2.2	4.0	5.4	7.5	10.8	13.5	20.2	1.3	2.4	3.2	4.5	6.3	8.0	11.8	
出口流量(注)	Nm ³ /min	1.85	3.4	4.6	6.3	9.1	11.4	17.1	1.1	2.0	2.7	3.8	5.3	6.8	10.0	
再生 サイクル	－	6分(3分切替え)							4分(2分切替え)							
入 口 圧 力	MPa	0.44～0.97														
再 生 方 式	－	非加熱再生(ヒートレス)														
電源・消費電力	－	単相AC100V、50/60Hz、20W														
乾 燥 剤	－	活性アルミナ														
接 続 口 径	B	1	1	1・1/2	1・1/2	1・1/2	2(フランジ)	2(フランジ)	1	1	1・1/2	1・1/2	1・1/2	2(フランジ)	2(フランジ)	
外形寸法	幅	mm	635	710	800	865	970	970	1,180	635	710	800	865	970	970	1,180
	奥行き	mm	535	555	535	535	840	840	840	535	555	535	535	840	840	840
	高 さ	mm	1,655	1,735	2,180	2,110	2,085	2,615	2,435	1,655	1,735	2,180	2,110	2,085	2,615	2,435
質 量	kg	225	270	350	390	545	700	910	225	270	350	390	545	700	910	

注) 1. ドライヤー入口圧力0.69MPa、入口温度40℃のときの値です。
2. HDK-40AⅡ～200AⅡは第2種圧力容器に該当します。
3. 大気圧露点－73℃シリーズの最高入口温度は50℃以下としてください。
4. HDK-40AXⅡ～200AXⅡは第2種圧力容器に該当します。
5. 配管・突起部位等の寸法は含みません。詳細は図面をご参照ください。



HDK-100AⅡ

ヒートレスエアドライヤー用フィルター

ヒートレスエアドライヤー(HDKシリーズ)には、専用フィルターを組み合わせてご使用ください。

■ ヒートレスエアドライヤー用プレフィルター 仕様表

項目・単位	型 式	HPF-20A	HPF-60A	HPF-80A	HPF-140A	HPF-200A	HPF-250A
最 大 流 量	Nm ³ /min	2.0	3.0	6.6	8.0	16.0	25.0
圧 損 (水飽和)	MPa	0.01	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
接 続 口 径	B	1	1	1・1/2	1・1/2	2	3(フランジ)
使用温度範囲	℃	0～60					
最高使用圧力	MPa	0.98					
概 略 質 量	kg	4.5	5.0	7.0	11.0	16.0	23.0

注) 1. 最大流量、圧損は0.69MPa、40℃を基準としたものです。
2. プレフィルターの圧損は水分飽和時の圧損です。



■ ヒートレスエアドライヤー用アフターフィルター 仕様表

項目・単位	型 式	HLF-20A	HLF-60A	HLF-80A	HLF-140A	HLF-200A	HLF-250A
最 大 流 量	Nm ³ /min	2.6	5.2	10.5	13.1	15.8	25.0
圧 損	MPa	0.006	0.003	0.003	0.003	0.003	0.006
接 続 口 径	B	1	1	1・1/2	1・1/2	2	3(フランジ)
ろ 過 度	－	0.9μm(絶対ろ過度) 0.07μm(98%捕集粒径)					
最高使用圧力	MPa	0.98					
概 略 質 量	kg	4.5	5.0	7.0	11.0	12.0	23.0

注) 1. 最大流量、圧損は0.69MPa、40℃を基準としたものです。
2. アフターフィルターの圧損は初期圧損となります。

省エネ効率を向上させる空気槽。

空気槽

圧縮機の省エネ機能を最大限に発揮させるためにできるだけ大きな空気槽をお選びください。



2.26 REC-A

■ 仕様表

型式	容量 (m ³)	直径×全高 (mm)	質量 (kg)	空気出入口管径	
				サイズ (A)	形状
0.28REC-A	0.28	459×1,991	110	40	オネジ
0.43REC	0.43	582×1,975	219	40	オネジ
0.7REC	0.7	722×2,021	260	80	フランジ
1.24REC-A	1.24	964×2,132	610	100	フランジ
2.26REC-A	2.26	1,118×2,782	950	150	フランジ
4.0REC	4.0	1,270×3,696	1,520	250	フランジ
5.0REC-E	5.0	1,324×4,205	1,970	150	フランジ
6.0REC-E	6.0	1,528×3,860	2,480	200	フランジ
8.0REC-E	8.0	1,632×4,460	3,360	200	フランジ
10.0REC-E	10.0	1,832×4,465	3,800	200	フランジ
12.0REC-E	12.0	1,932×4,730	4,260	200	フランジ

注) 配管・突起部位等の寸法は含みません。詳細は図面をご参照ください。

■ レシーバ対応表

機 種	最小空気槽容量 (m ³)	推奨空気槽容量 (m ³)
DSP-15A (R) N3、15WN3	0.28	1.24
DSP-22A (R) N3、22WN3	0.43	1.24
DSP-37A (R) N3、55A (R) N3	0.7	2.26
DSP-37WN3、55WN3		
DSP-22AT (R) N3	0.43	1.24
DSP-30AT (R) N3	0.7	1.24
DSP-37AT (R) N3	0.7	2.26
DSP-45AT (R) N3、55AT (R) N3、75AT (R) N3	1.24	2.26
DSP-45WT (R) N3、55WT (R) N3、75WT (R) N3		
DSP-90AN3、100AN3、120AN3	2.26	2.26
DSP-90WN3、100WN3、120WN3		
DSP-132AN3、145AN3、160AN3	4.0	4.5
DSP-132WN3、145WN3、160WN3	4.0	4.5
DSP-200AN3 (0.75MPa仕様)	4.5	5.0
DSP-200WN3 (0.75MPa仕様)	4.5	5.0
DSP-200AN3 (0.93、1.0MPa仕様)	4.0	5.0
DSP-200WN3 (0.93、1.0MPa仕様)	4.0	5.0
DSP-240AN3 (0.75MPa仕様)	5.0	5.0
DSP-240WN3 (0.75MPa仕様)	5.0	5.0
DSP-240AN3 (0.93、1.0MPa仕様)	4.5	5.0
DSP-240WN3 (0.93、1.0MPa仕様)	4.5	5.0
DSP-22VA (R) N3	0.7	0.7
DSP-37VA (R) N3、55VA (R) N3、37VWN3、55VWN3	1.24	1.24
DSP-37VAT (R) N3		
DSP-55VAT (R) N3、75VAT (R) N3		
DSP-55VWT (R) N3、75VWT (R) N3		
DSP-100VAN3、100VWN3	2.26	2.26
DSP-160VAN3、160VWN3	4.5	4.5
DSP-240VAN3、240VWN3	5.0	5.0

注) AUTO機能またはECOMODEを有効にする場合や台数制御仕様、交互運転仕様の場合には、その省エネルギー効果を発揮するため、上記推奨空気槽容量以上の空気槽を設置してください。

特殊空気槽

ステンレス仕様、内面塗装や指定塗装も対応可能です。

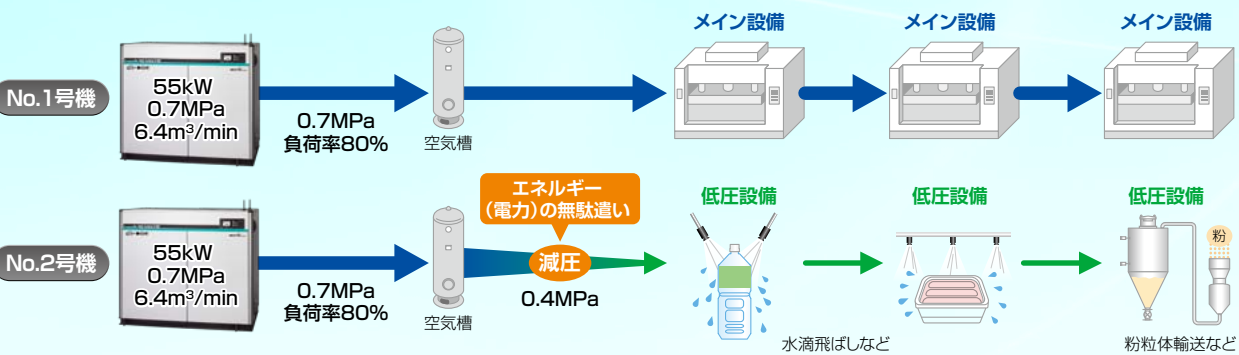
■ 空気槽製作範囲

法 規	第二種圧力容器構造規格
製作可能範囲	最大50m、内径φ3200以下、長さ10m以下、質量12t以下 屋外仕様も製作可能
材 質	SS400、SUS304他、第二種圧力容器構造規格に基づく材料
最高使用圧力	5.0MPa以下 (35℃) 高圧ガス保安法適用外
取扱流体	空気、窒素、ヘリウム、アルゴン等
塗 装	標準仕様の外面：フタル酸樹脂系塗装、内面：塗装なしの他、内面：エポキシ樹脂系塗装、指定塗装、指定色にも対応可能。
標準付属品	安全弁、圧力計、ゲージコック、合フランジ、玉形弁、基礎ボルト

適量・適圧・適所のご要望にお応えする
日立空気圧縮機。

各ライン、ユースポイントでの必要な圧縮空気量、必要な圧力はさまざまである中、高い圧力の運転での動力のムダを防ぎ、稼働効率を追求するお客さまのご要望にお応えし、日立は適量・適圧・適所の空圧システムソリューションを提案します。

改善前 こんな使い方をされていませんか？



一般的なブローでは
圧力が低過ぎるし、
空気圧縮機の標準仕様では
圧力が高過ぎるし…
何かいい方法はないのかな？



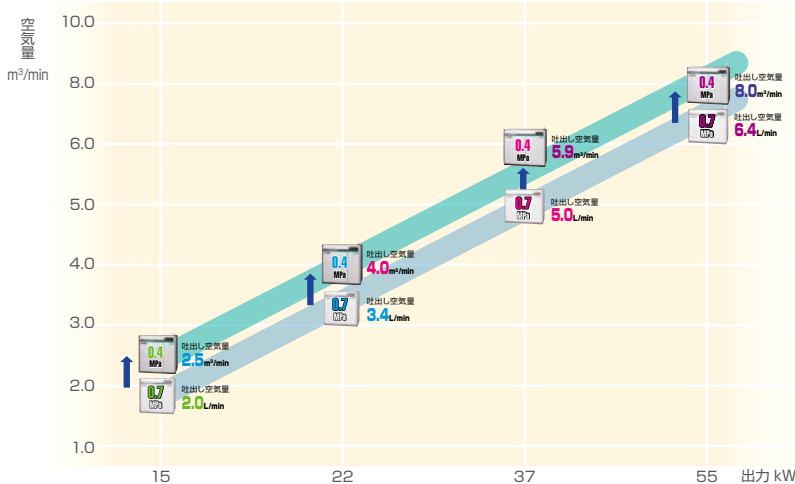
日立独自の単段オイルフリースクリューならではの低圧仕様

例えば、仕様圧力**0.4MPa**吐出し空気量は55kW機で**25%アップ***の**8.0m³/min**



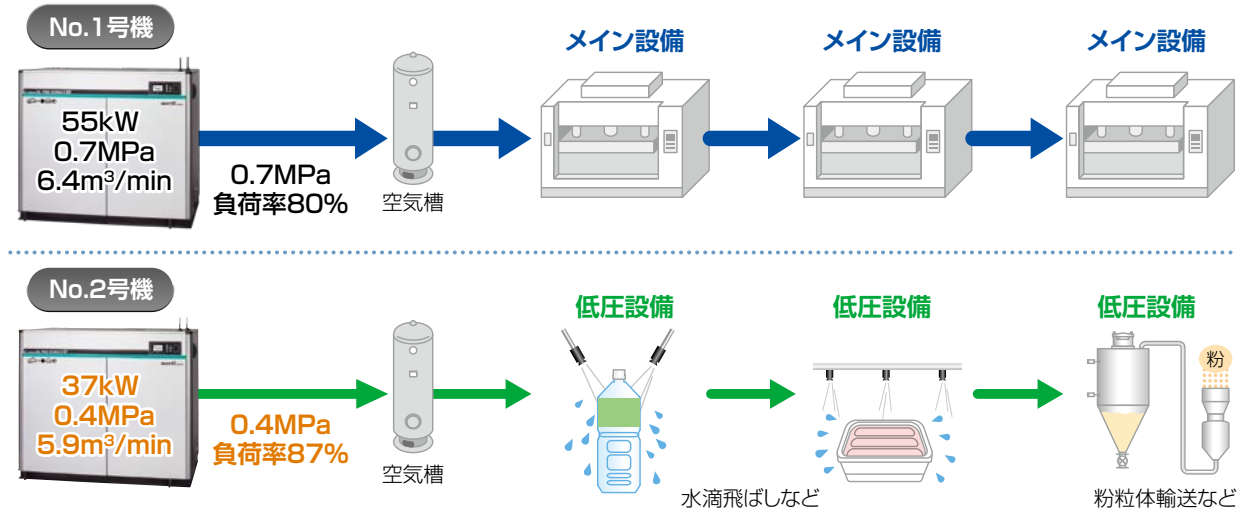
*DSP-55AN3 (仕様圧力0.7MPa時:吐出し空気量6.4m³/min)
低圧仕様 (仕様圧力0.4MPa時:吐出し空気量8.0m³/min)

ひとクラス上の吐出し空気量で省エネルギー
(例: DSP 15kW~55kW 一定速機の場合)



省エネ・シミュレーション

改善後 必要圧力に合わせて空気圧縮機を使い分けましょう！ 適量・適圧・適所



改善効果例

項目・単位	改善前	改善後
No.1号機 予想年間消費電力費* 万円/年	405	405
No.2号機 予想年間消費電力費* 万円/年	405	324

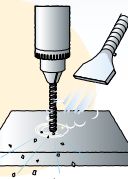
*電力単価: 19円/kWh、運転時間: 4,000時間/年

55kW機
37kW機に**サイズダウン**
年間
約**81万円**の省エネ効果！

用途例 機械、水産、食品、自動車など さまざまな業種に適用できます。

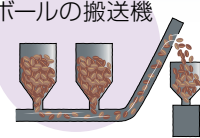
■エアブロー

サンドブラスト、洗瓶機、
洗浄後の水滴飛ばし、ダ
スト、切粉の除去、溶接、
金属片の吹き飛ばし、表
面付着の除去



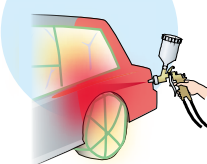
■空気輸送

粉粒体の輸送、焼却炉、穀類・豆類
の輸送、ゴルフボールの搬送機



■圧縮空気を利用した噴霧
(2流体ノズルなど)

2流体ノズルによる洗剤噴射、塗装噴射、
薬剤・消毒の散布、潤滑油の吹き付け、
加湿装置



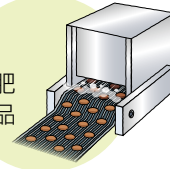
■エアレーション

発酵物の攪拌、薬品培養槽の攪拌、養魚
場への酸素補給、污水处理場の酸化作用



■乾燥/冷却

畜糞発酵による堆肥
化、乾燥ライン、食品
の冷却



省エネとともにエネルギー原単位の向上を実現！

工場エア圧力の低減による節電効果

吐出し圧力を0.7MPaから0.5MPaにすると理論動力は約18%*低減
します。
コンプレッサの運転圧力を下げれば大きな節電効果が得られます。

*段圧縮の場合

【参考値】圧力低減による電力費の比較

動力 (kW)	吐出し圧力 (MPa)		
	0.7	0.6	0.5
22	278	255	229
37	468	429	386
45	570	521	469
55	696	638	573
75	950	880	800
90	1,140	1,056	961
100	1,266	1,172	1,067
120	1,520	1,408	1,280

注) 1. 計算条件: 電力料金19円/kWh、運転時間: 6,000時間
2. 動力22~55kWは1段圧縮機、75~120kWは2段圧縮機として試算

圧縮機室換気にご注意ください

密閉された部屋ではDSPは使用できません。
DSPから発生する熱を換気できる設備をご用意ください。

(1) 全体換気をする場合

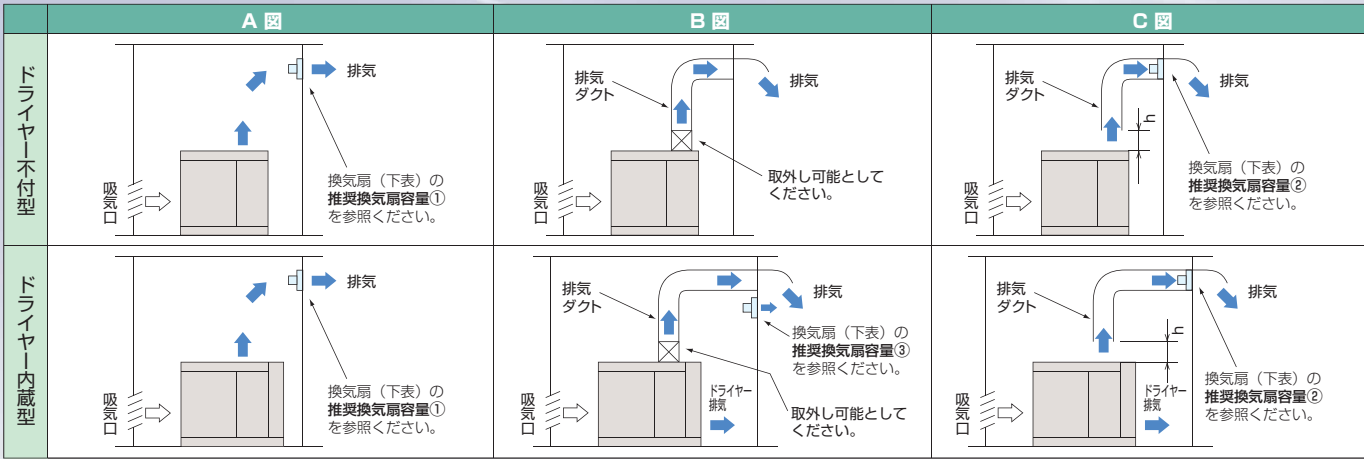
A図のように設置建屋全体を換気する場合の換気扇容量は、推奨換気扇容量①以上のものが必要です。(ただし建屋内の許容温度上昇を5℃とした場合の値です)換気扇は建屋の上部に設けてください。

(2) 排気ダクトを使用して換気をする場合

●圧縮機からの排風量をもとに排気ダクトの抵抗を算出し、圧力損失が20Pa(2mmAq)以内であれば、ダクト内に換気扇を設ける必要はありません。この場合、ダクトは、B図のように圧縮機の排気口に直接接続してください。なお、メンテナンス時にダクトがじゃまにならぬよう、排気ダクトは取外しが可能な構造としてください。一方、ドライヤーからの排気を換気

するために推奨換気扇容量③以上のものを建屋に設置してください。

- 排気ダクトの圧力損失が20Pa(2mmAq)以上になる場合には、その圧力損失を考慮した上で推奨換気扇容量②の排風量が確保できる換気扇をダクト内に設けてください。換気扇の選定にあたっては排気温度上昇を考慮してください。この場合には、ダクトを圧縮機排風口に直接接続せず、ダクト入口にフードを設け、間隔h(hはダクトの径以上)をとって取付けてください。(C図)
- ドライヤーの排気は、換気扇を設けたダクトで排気しないでください。強制排気によりドライヤーのエアークーラ内部が凍結する恐れがあります。



換気データ

■ 空冷式DSPシリーズ

項目・単位	型 式	DSP-15AN3	DSP-22AN3 DSP-22VAN3	DSP-37AN3 DSP-37VAN3	DSP-55AN3 DSP-55VAN3	DSP-22ATN3	DSP-30ATN3	DSP-37ATN3 DSP-37VATN3	DSP-45ATN3	DSP-55ATN3 DSP-55VATN3	DSP-75ATN3
発 生 熱 量	MJ/H (kcal/h)	77 (18,400)	118 (28,200)	166 (39,600)	225 (53,800)	120 (28,700)	143 (34,200)	165 (39,500)	198 (47,300)	246 (58,700)	333 (79,700)
圧 縮 機 排 風 量	m³/min	65		100	120	90	150		150	200	200
排 風 温 度 上 昇	℃	約18	約27	約25	約28	約20	約24	約28	約20	約25	約25
機 外 許 容 圧 損	Pa(mmH₂O)	20(2)									
推 奨 換 気 扇 容 量 ①	m³/min	204	312	440	598	320	380	440	530	650	890
推 奨 換 気 扇 容 量 ②	m³/min	86	95	130	150	120		180		230	

項目・単位	型 式	DSP-90AN3	DSP-100AN3	DSP-100VAN3	DSP-120AN3	DSP-132AN3	DSP-145AN3	DSP-160AN3 DSP-160VAN3	DSP-200AN3	DSP-240AN3 DSP-240VAN3
発 生 熱 量	MJ/H (kcal/h)	387 (92,500)	430 (102,800)	440 (105,000)	498 (118,900)	522 (125,000)	566 (135,000)	636 (152,000)	830 (198,000)	948 (226,000)
圧 縮 機 排 風 量	m³/min	250		270		400		440	500	
排 風 温 度 上 昇	℃	約24	約26	約25	約28	約20	約21	約22	約25	約29
機 外 許 容 圧 損	Pa(mmH₂O)	20(2)								
推 奨 換 気 扇 容 量 ①	m³/min	1,030	1,140	1,170	1,320	1,400	1,500	1,700	2,200	2,500
推 奨 換 気 扇 容 量 ②	m³/min	280	280	300	300	480		520	600	

■ 空冷式DSPドライヤー内蔵型シリーズ

項目・単位	型 式	DSP-15ARN3	DSP-22ARN3 DSP-22VARN3	DSP-37ARN3 DSP-37VARN3	DSP-55ARN3 DSP-55VARN3	DSP-22ATRN3	DSP-30ATRN3	DSP-37ATRN3 DSP-37VATRN3	DSP-45ATRN3	DSP-55ATRN3 DSP-55VATRN3	DSP-75ATRN3 DSP-75VATRN3
圧 縮 機 発 生 熱 量	MJ/H (kcal/h)	77 (18,400)	118 (28,000)	166 (39,600)	225 (53,800)	120 (28,700)	143 (34,200)	165 (39,500)	198 (47,300)	246 (58,700)	333 (79,700)
ド ラ イ ヤ ー 発 生 熱 量	MJ/H (kcal/h)	7 (1,700)	14 (3,300)	21 (5,100)	21 (5,100)	21 (5,000)		25 (6,000)		46 (11,000)	
総 発 生 熱 量	MJ/H (kcal/h)	84 (20,100)	132 (31,500)	187 (44,700)	246 (58,900)	141 (33,700)	164 (39,200)	186 (44,500)	223 (53,300)	271 (64,700)	379 (90,700)
圧 縮 機 排 風 量	m³/min	65		100	120	90		150		200	
ド ラ イ ヤ ー 排 風 量	m³/min	18	30	50		50		60		70	
排 風 温 度 上 昇	℃	約18	約27	約25	約28	約20	約24	約28	約20	約25	約25
機 外 許 容 圧 損	Pa(mmH₂O)	20(2)									
推 奨 換 気 扇 容 量 ①	m³/min	223	353	470	656	380	440	500	600	720	1,020
推 奨 換 気 扇 容 量 ②	m³/min	106	122	180	200	180		250		360	
推 奨 換 気 扇 容 量 ③	m³/min	20	39	62	62	62		70		130	

換気データ

■ 水冷式DSPシリーズ

項目・単位	型 式	DSP-15WN3	DSP-22WN3	DSP-37WN3 DSP-37VWN3	DSP-55WN3 DSP-55VWN3	DSP-45WTN3	DSP-55WTN3 DSP-55VWTN3	DSP-75WTN3 DSP-75VWTN3
発 生 熱 量	MJ/H (kcal/h)	8 (1,900)	12 (2,800)	16 (3,800)	22 (5,300)	27 (6,400)	28 (6,800)	37 (8,800)
推 奨 換 気 扇 容 量 ①	m³/min	21	31	45	60	75	80	100

項目・単位	型 式	DSP-90WN3	DSP-100WN3 DSP-100VWN3	DSP-120WN3	DSP-132WN3	DSP-145WN3	DSP-160WN3 DSP-160VWN3	DSP-200WN3	DSP-240WN3 DSP-240VWN3
発 生 熱 量	MJ/H (kcal/h)	44 (10,400)	49 (11,600)	56 (13,400)	57 (13,600)	60 (14,400)	67 (16,000)	90 (21,500)	98 (23,500)
推 奨 換 気 扇 容 量 ①	m³/min	120	130	150	150	160	180	240	260

■ 水冷式DSPドライヤー内蔵型シリーズ

項目・単位	型 式	DSP-45WTRN3	DSP-55WTRN3 DSP-55VWTRN3	DSP-75WTRN3 DSP-75VWTRN3
圧 縮 機 発 生 熱 量	MJ/H (kcal/h)	27 (6,400)	28 (6,800)	37 (8,800)
ド ラ イ ヤ ー 発 生 熱 量	MJ/H (kcal/h)	25 (6,000)		46 (11,000)
総 発 生 熱 量	MJ/H (kcal/h)	52 (12,300)	53 (12,700)	83 (19,800)
推 奨 換 気 扇 容 量 ①	m³/min	140	145	230

●必要換気量の求め方

Q= $\frac{n \times H}{0.00126 \times \Delta T \times 60}$

Q : 必要換気量 m³/min
H : 1台当たりの発生熱量 MJ/h
n : 据付台数
ΔT : 許容温度上昇 ℃
(圧縮機の許容温度範囲・年間最高室内温度)

■ 電気配線

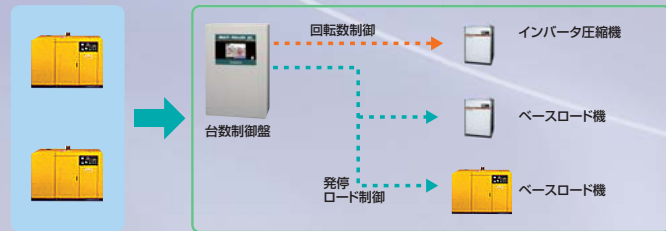
出力 (kW)	項目	電源 (V)	始動方式(切替時間) (秒)	電源トランス容量 (kVA)	電源ケーブルの太さ (mm ²)	主電源保護用漏電遮断器(日立製)		
						標準機種		
						型式	定格電流(A)	感度電流(mA)
15	200～220	200～220	直入れ	30以上	38(最大60)	EXK225	150	200
22			スター・デルタ (15)	50以上	50(最大60)	EXK225	225	
30				75以上	60(最大100)	EX400B	225	
37				100以上	100(最大150)	EX600B	300	
45				150以上	150(最大250)	EX800B	500	
55				200以上	200(最大325)	RF-1000CBNK	500	
75			インバータ駆動	50以上	50(最大60)	RXK225-H	200	
90				75以上	60(最大100)	RXK225-H	225	
100				100以上	100(最大150)	RX400B	350	
22(Vタイプ)			ソフトスタート	75以上	60(最大100)	RXK225-H	225	
37(Vタイプ)				100以上	100(最大150)	RX400B	250	
55(Vタイプ)				150以上	150(最大250)	RX400B	350	
37(V-DCBL)	400～440	400～440	直入れ	30以上	15(最大60)	EX100B	100	200
22			スター・デルタ (15)	50以上	22(最大60)	EXK225	125	
30				75以上	30(最大100)	EXK225	150	
37				100以上	38(最大100)	EXK225	200	
45				150以上	80(最大150)	EX400BK	225	
55				200以上	100(最大150)			
75				250以上	125(最大150)	EX600B	400	
90				350以上	150(最大325)	EX800B	400	
100					200(最大325)			
120				500以上	250(最大325)	RF-1000CBNK	1,000	
132			325					
145			インバータ駆動	50以上	22(最大60)	RXK100-H	100	
160	75以上	30(最大100)						
200	100以上	38(最大150)		RXK225-H	175			
240	200以上	125(最大150)		RX400B	350			
22(Vタイプ)	350以上	200(最大325)		RX400B	350			
37(Vタイプ)	500以上	325		RX600B	500			
55(Vタイプ)	ソフトスタート	75以上	30(最大100)	RXK100-H	100			
100(Vタイプ)		100以上	38(最大100)	RXK225-H	125			
160(Vタイプ)		150以上	60(最大150)	RXK225-H	175			
240(Vタイプ)	3,000～3,300	リアクトル (8)	200以上	14	—	—	—	
90			250以上					
100			350以上	22				
120								
132			500以上					
145								
160								
200								
240								

注) 1. ケーブルの太さは、長さや保護管の型式等により一律に決められないことから標準的な値を示します。
2. ケーブルの太さは、長さ10m、1台接続の場合を示します。
3. 漏電遮断器の型式は標準的な場合を示します。実際には電源事情等を考慮し選定する必要があります。
4. Vタイプはインバータ対応型の漏電遮断器を使用してください。

確かな計測診断で「省エネ・リニューアル」をサポート。

圧縮機負荷率測定

圧縮機の電流・圧力を測定し、使用空気量・年間消費電力を把握します。測定結果から適切な圧縮機設備を提案します。
また、推奨設備導入に伴う工事費を含めたコストを提示して、省エネ効果による回収年月を提示します。



提案事例 台数制御化、インバータ化、集約化、分散化など

空気漏れ測定

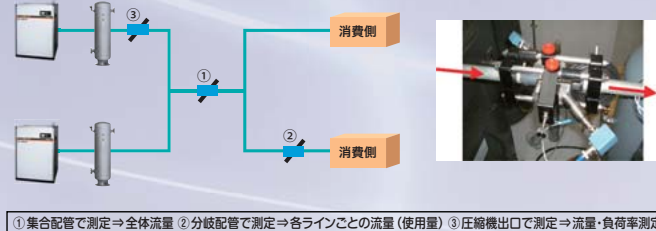
工場内のエア漏れ箇所・漏れ量の測定を行います。漏れ修繕費を提示して、修理による省エネ効果・修繕費に対する回収年月を提示します。



測定者はわずかな漏れ量でも、ヘッドフォンから聞こえる音で漏れ箇所を特定します。

空気流量測定

超音波ガス流量測定器を既設配管に取付け、配管を流れる実流量を測定します。
配管が分岐したラインへの供給流量の測定が可能です。また、エンジンコンプレッサーの負荷状況も確認できます。



提案事例 各ラインへの供給流量測定による分散化提案など

空気圧縮機用
圧力容器肉厚測定

提案事例 測定結果から、腐れ代に近い減肉が認められ、リニューアル提案

モータコイル
絶縁診断

提案事例 予防保全(点検整備)、高効率モータ等へのリニューアル提案

⚠ 安全に関するご注意

■圧縮機の使用対象について

- このカタログに掲載の圧縮機の取り扱い気体は空気のみです。空気以外の気体の圧縮には絶対に使用しないでください。(火災・破損などの原因となります。)
- 本圧縮機は圧縮空気を直接吸引する呼吸器系の機器には使用できません。

■据え付け場所に関して

- 本圧縮機は屋内に据え付けてください。雨や蒸気などの水分のかかる場所では使用しないでください。(火災・感電・各部の発錆・寿命低下の原因となります。)
- 近くに爆発性・引火性ガス(アセチレン・プロパンガスなど)・有機溶剤・爆発性粉じんおよび火気のない場所で使用してください。(火災・事故の原因となります。)
- アンモニア・酸・鉄分・亜硫酸ガスなどの腐食性ガスのある場所では使用しないでください。(発錆・寿命低下・破損の原因となります。)

■ご使用に際して

- ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- このカタログは、日本国内でご使用になる製品について記載してあります。
- 製品の改造および部品の改造は絶対にしないでください。(破損・故障の原因となります。)



このカタログに掲載の製品は、国・地域によって仕様・外観等が異なります。最寄りの日立販売店にお問い合わせください。

Asia & Oceania

China (中国)
Hitachi Industrial Equipment Systems (China) Co., Ltd.
(Shanghai Branch)
Room1207, Rui Jin Building, No.205
Maoming Road(S) Shanghai 200020
TEL : +86 (21) 5489-2378
FAX : +86 (21) 3356-5070
(Beijing Branch)
Room1420, Beijing Fortune Building,
No.5 Dong San Huan Bei Road,
Chao Yang District, Beijing 100004
TEL : +86 (10) 6590-8180
FAX : +86 (10) 6590-8189
(Guangzhou Branch)
Room3403, Office Tower, CITIC Plaza ,
No.233 Tianhe North Road, Guangzhou
510613
TEL : +86 (20) 3877-0438
FAX : +86 (20) 2735-3820

Hitachi Industrial Equipment Systems
(Hong Kong) Co., Ltd.
6th Floor, North Tower World Finance
Centre, Harbour City, Canton Road,
Tsim Sha Tsui, Kowloon Hong Kong
TEL : +852 2735-9218
FAX : +852 2735-6793

Taiwan Hitachi Asia Pacific Co., Ltd
3rd Floor, No. 167, Tun Hwa N. Road,
Hung-Kuo Building, Taipei 10512, Taiwan
TEL : +886 (2) 2718-3666
FAX : +886 (2) 2514-7664

India (インド)

Hitachi India Pvt. Ltd.
Units 304-306, 3rd Floor, ABW Elegance
Tower, Jasola District Centre, New Delhi
110 025, India
TEL : +91 (11) 4060-5252
FAX : +91 (11) 4060-5253

Indonesia (インドネシア)

PT Hitachi Asia Indonesia
Menara BCA 38th Floor Suite #3804 &
3805 Jl. M. H Thamrin No.1, Jakarta
10310, Indonesia
TEL : +62 (21) 2358-6757
FAX : +62 (21) 2358-6755

Malaysia (マレーシア)

Lot 6498, Batu 5 3/4, Lorong Haji
Abdul Manan, 42100 Klang, Selangor
Darul Ehsan, Malaysia
TEL : +60 (3) 3290 2323

Philippines (フィリピン)

Hitachi Asia Ltd. Philippine Branch
Unit 8, 11th Floor Zuellig Bldg.,
Makati Avenue corner Paseo de Roxas
Makati City, Philippines 1225
TEL : +632 886-9018
FAX : +632 887-3794

Singapore (シンガポール)

Hitachi Asia Ltd.
(Industrial Components & Equipment
Group)
No.30, Pioneer Crescent
#10-15, West Park Bizcentral
Singapore 628560
TEL : +65-6305-7400
FAX : +65-6305-7401

Thailand (タイ)

Hitachi Asia (Thailand) Co., Ltd.
18th Floor, Ramaland Building, 952
Rama IV Road Bangrak, Bangkok 10500
TEL : +66 (2) 632-9292
FAX : +66 (2) 632-9299

Viet Nam (ベトナム)

Hitachi Asia Ltd.
(Ho Chi Minh City Office)
4th Floor, The Landmark, 5B Ton Duc
Thang Street District 1, Ho Chi Minh City
TEL : +84 (8) 3829-9725
FAX : +84 (8) 3829-9729
(Ha Noi Office)
Sun Red River Bldg., 5th Floor,
23 Phan Chu Trinh Street
Hoan Kiem District, Hanoi
TEL : +84 (4) 3933-3123
FAX : +84 (4) 3933-3125

Australia (オーストラリア)

Hitachi Australia Pty Ltd.
Level 8, 123 Epping Road, North Ryde,
NSW 2113
TEL : +61 (2) 9888-4100
FAX : +61 (2) 9888-4188

Europe

Germany (ドイツ)
Hitachi Europe GmbH
(Industrial Components & Equipment
Group)
Niederkaessler Lohweg 191,
40547 Düsseldorf, Germany
TEL : +49 (211) 5283 0
FAX : +49 (211) 5283 649

Russian Federation (ロシア)

Hitachi, Ltd. (Moscow Office)
Millenium House, 12, Trubnaya, Moscow
107045
TEL : +7 (495) 787-4020
FAX : +7 (495) 787-4021

Latin America

Mexico (メキシコ)
Hitachi Industrial Equipment
Mexico S.A. de C.V.
Avenida Rio Seguro 161, Parque Tecnológico
Industrial Castro del Rio Tramo
Irapuato-Silao km125, Carretera
Panamericaa C.P.36810, Irapuato, Gto.,
Mexico
TEL : +52 (462) 693-7088, -7089, -7090
FAX : +52 (462) 693-7091

North America

U.S.A. (アメリカ)
Hitachi America, Ltd.
(Industrial Components & Equipment
Division)
50 Prospect Avenue, Tarrytown,
New York, 10591-4625
TEL : +1(914) 332-5800
FAX : +1(914) 332-5555
(Charlotte Office)
(Industrial Components & Equipment
Division)
6901 Northpark Blvd., Suite A, Charlotte,
NC 28216
TEL : +1 (704) 494-3008
FAX : +1 (704) 599-4108

FitLiveサービスに関する登録とご注意について

【FitLive用Web登録へのアクセス方法】

サービスをご利用の際は、インターネットからお客さま情報や機器情報などの登録が必要となります。
タブレット端末をご利用の方は右記QRコードを読み取り、アクセスしてください。

※携帯電話のQRコード読み取りからはご利用いただけません。



パソコンをご利用の方は弊社ホームページより右記の「FitLive登録ボタン」または
URL:<https://www.hitachi-ies.co.jp/fitlive>からアクセスしてください。



【ご注意】

- ・NEXTⅢseriesは、携帯電話の通信機能を有し携帯電話と同等の電波を出し通信をします。
- ・本監視サービスをご利用いただくには別途ご契約が必要です。
- ・本監視サービスは、携帯電話のサービスエリア内でご利用できます。
- ・本監視サービスは、携帯電話のサービスエリア内であっても、トンネル、地下、屋内、ビル陰および山間部など電波の届きにくい場所ではご利用にならない場合があります。
- ・通信機能は携帯電話通事業者よりベストエフォートにて提供されるので、その通信サービスに依存する本監視サービスの提供について、弊社は保証をいたしません。
- ・埋め込み型臓ペースメーカを装着されている方は、装置部位から離して利用ください。なおペースメーカには多数の種類がありますので、取り扱いについての詳細は、関係医療機関やその機種の供給元などへご相談ください。
- ・本監視サービスの提供の詳細については、「標準搭載型FitLive加入契約約款兼接続承諾約款」および製品の取扱説明書をご覧ください。
- ・本監視サービスについては、製品サービスの改良などより仕様および記載事項の一部を予告なく変更する場合があります。

全国をカバーするネットワークで保守・管理業務をサポート

工場名称	製品名	設置場所	機種	型式	製造番号	状態	通信状況	メンテナンス
工場A	LP	(東)	FA1用	UN-EM001	4300	正常	正常	104
工場B	LP	(中)	FA1用	UN-EM002	703212007	正常	正常	10
工場C	モータ	Aライン	1号機	SP-PM001	6122456789	正常	正常	
工場D	モータ	Aライン	1号機	DCM-Combiner	8000000000	正常	正常	
工場E	モータ	Aライン	1号機	OSP-SPV002	11212771	正常	正常	7142
工場F	モータ	Aライン	2号機	OSP-SPV002	11212772	正常	正常	831
工場G	モータ	Aライン	2号機	OSP-SPV002	11212773	正常	正常	5100
工場H	モータ	Aライン	4号機	OSP-SPV002	11212774	正常	正常	
工場I	LP	FA1用	UN-EM001	9000		正常	正常	
工場J	LP	プロセス工場	FA1用	UN-EM001	703212007	正常	正常	10

全国の工場の稼働状況が把握でき、とても便利です。
※閲覧利用契約の場合

FitLive管理者画面(サンプル)

FitLiveサービスは当社の指定する携帯網のサービスエリア内でご利用いただけます。
地下、屋内、ビル陰など電波の届きにくい場所では、サービスをご利用にならないことがあります。

Internet

安全に関するご注意

●ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。

株式会社 日立産機システム

お問い合わせ営業窓口

本社・営業統括本部 〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町3番地 (AKSビル) (03) 4345-6041
関東地区窓口 〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町3番地 (AKSビル) (03) 4345-6045
北海道支社 (011) 611-1224 北陸支社 (076) 420-5711 中国支社 (082) 282-8112
東北支社 (022) 364-2710 中部支社 (052) 884-5822 四国支社 (087) 882-1192
福島支店 (024) 961-0500 関西支社 (06) 4868-1226 九州支社 (092) 651-0141

FitLiveサービスに関するお問い合わせ

サービス事業部 LCMセンタ (03) 4345-6230

信用と行き届いたサービスの当社へ

<https://www.hitachi-ies.co.jp>

- FitLiveは株式会社 日立産機システムの日本における登録商標です。
- このカタログに掲載した内容は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

HC-260X

2019.5

Printed in Japan (H)